

令和 3 年度

工 事 設 計 書

岩手中部水道企業団

課 長	主 幹	課長補佐	係 長	設計者	精算者				
着 手 完 了	期 日	自 年 月 日 自 年 月 日 至 令和 3 年 11 月 30 日 至 年 月 日				摘 要	単 独 【建設リサイクル法対象】 上段：当初設計 下段：変更設計		
工 期 日 数	日						歩 掛 適 用	： 岩手県令和03年04月水道歩掛(復興歩掛)	
工 事 番 号	第 119 号						基 礎 単 価 適 用	： 令和03年05月01日付 公共	
施 工 場 所	花巻市大迫町大迫地内 大迫中央浄水場						機 械 損 料 適 用	： 令和02年10月01日付 公共機械損料	
工 事 名	大迫第 1 配水池修繕					工 種 区 分	： 構造物工事(浄水場等)		
設 計 金 額	金 円也					施 工 地 域 区 分	： 補正無し		
工 事 概 要	別紙のとおり					前 金 払 い	： 35%を超え40%以下		
						冬 期 労 務 補 正	： %		
						契 約 保 証 補 正	： 契約保証に係る補正を行わない		

工事費内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
改修工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

改修工事 細目別内訳

大迫第1配水池						
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
直接仮設工事						
事前調査	屋根 目視・打診による確認 マーキング、計測、図面記入	196.	m ²			
墨出し (屋上防水改修)		196.	m ²			
養生 (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	196.	m ²			
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	196.	m ²			
事前調査	壁面 目視・打診による確認 マーキング、計測、図面記入	276.				
墨出し(外壁改修)	タイル・モルタル塗替等 一般	276.	m ²			
整理清掃後片付け (外壁改修)		276.	m ²			
養生(外壁改修)		276.	m ²			
開口部養生 (外壁改修)	合板張り養生	1.1	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700 布枠500×1枚 RC造標準日数 修理費含む 12m未満 1階建 建築面積 300m ²	232.	m ²			
小計						
改修						
屋根防水吹付	超速硬化ウレタン防水工法 リムスプレー t=2.0 密着工法	234.	m ²			
防水下地処理	プライマー	234.	m ²			

改修工事 細目別内訳

大迫第1配水池						
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
防水下地モルタル塗	ポリマーセメントモルタル塗	57.6	m ²			
防水剥がれ部補修	超速硬化ウレタン防水工法 リムスプレー t=2.0 密着工法	4.	か所			
壁面防水材吹付	1成分新環境対応型ウレタン外装材	256.	m ²			
壁面下地調整	カチオンフィラー下地調整材	256.	m ²			
壁クラック注入工法	超微粒子セメント系ポリマーセメントスラリー注入材	91.2	m			
立上コンクリート復旧		1	式			別紙 00-0001
アルミ手摺付笠木	縦格子ツインアンカー 支柱ピッチ1200以下	1	式			別紙 00-0003
小計						
撤去						
屋根防水撤去	高圧水洗工法 既存劣化塗膜および下地劣化部の除去	214.	m ²			
屋根下地モルタル撤去	集積共	57.6	m ²			
壁面塗膜撤去	高圧水洗工法 既存劣化塗膜および下地劣化部の除去	276.	m ²			
アルミ手摺撤去	集積共	47.3	m			
立上コンクリート部撤去	無筋コン 人力	2.	m ³			
螺旋階段撤去		1	式			別紙 00-0002

改修工事 別紙明細

大迫第1配水池						
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
立上コンクリート復旧		1	式			別紙 00-0001
花巻管内 生コンクリート	花巻 JIS A5308 呼び強度24 S15 粗骨材25 - -	2.	m ³			
コンクリート打設手間	小型構造物 人力打設 擁壁、囲障の基礎程度 S15～S18	2.	m ³			
型枠	小型構造物用型枠 擁壁、囲障の基礎等 - -	19.6	m ²			
型枠運搬費	4 t 車 30km程度 往復	19.6	m ²			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295A D13	0.1	t			
鉄筋加工組立	小型構造物 - -	0.1	t			
鉄筋運搬費	4 t 車 30km程度	0.1	t			
あと施工アンカー	差筋アンカー D13×600	79.	本			
トラッククレーン運転 (油圧伸縮ジブ型)	25t吊り オペレータ付き 賃料 標準		日			
計						

改修工事 別紙明細

大迫第1配水池						
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
アルミ手摺付笠木	縦格子ツインアンカー 支柱ピッチ1200以下	1	式			別紙 00-0003
平面アール	W-250 H-900	48.18	m			
運搬費		1	式			
作図代		1	式			
取付費		1	式			
法定福利費		1	式			
計						
螺旋階段撤去		1	式			別紙 00-0002
コンクリートとりこわし	RC造 基礎部 - 標準	1.9	m3			
鉄骨軸組 とりこわし	小規模(集積共)人力	1.2	t			
搬出費 (揚重機除く) (撤去用)	単独搬出 3,000kg以下	1.2	t			
トラックレン運転 (油圧伸縮ジブ型)	25t吊り オペレータ付き 賃料 標準		日			
計						

大迫第1配水池修繕仕様書

第1章 総 則

1 適用範囲

この仕様書は、岩手中部水道企業団（以下「発注者」という。）が発注する「大迫第1配水池修繕」（以下「工事」という。）の施工に適用する。

なお、この仕様書に定めのない事項がある場合は、次の仕様書に準拠する。

- (1) 水道工事標準仕様書 [土木工事編]、[設備工事編]（日本水道協会）
- (2) 共通仕様書（岩手県県土整備部）
- (3) 標準給水装置工事要綱（岩手中部水道企業団）※給水装置工事に該当する箇所

2 責任施工

工事は、受注者の責任施工とする。従って受注者は、技術・施工能力を十分に駆使し、作業の安全性の確保と最小限の施設の休停止にとどめるよう、適切な措置を講じること。

3 適用規格

工事に使用する機器及び材料は、次の規格に適合しなければならない。ただし、規格にないものについては、監督員と協議し決定すること。

- (1) 水道施設設計指針（日本水道協会）
- (2) 水道施設更新指針（日本水道協会）
- (3) 水道維持管理指針（日本水道協会）
- (4) 日本産業規格（JIS規格）
- (5) 日本水道協会規格（JWWA規格）

4 工事契約に伴う提出書類

受注者は、工事契約に伴い下記に示す書類を指定期日までに発注者に提出しなければならない。提出部数などについては、監督員の指示に従うこと。

(1) 契約前（契約担当課に提出）

- ・説明書（請負金額500万円以上）

契約締結前

※建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）第12条第1項規定

(2) 契約後（以降は監督職員に提出）

- | | | |
|------------|---------|-----------|
| ・工事工程表 | 様式第1号 | 契約締結後7日以内 |
| ・現場代理人等通知書 | 様式第5-1号 | 契約締結後7日以内 |
| ・現場代理人経歴書 | 様式第5-3号 | 契約締結後7日以内 |
| ・主任技術者経歴書 | 様式第5-4号 | 契約締結後7日以内 |
| ・下請負人通知書 | 様式第3-1号 | 下請けに付す場合 |
| ・下請負調書 | 様式第3-2号 | 下請けに付す場合 |

(3) 工事着手前

- ・工事材料承諾願 様式第13号
- ・施工計画書 様式第 9号

※下記の場合は、施工計画書の提出を省略することができる。

- ① 当初請負金額が130万円未満の工事又は当初工期60日未満の工事
- ② 緊急を要する工事

- ・有資格者一覧表 任意様式

※請負金額130万円以上。施工計画提出時は計画書に含める。(個人情報以外)

- ・保安施設配置計画書 任意様式

※請負金額130万円以上。施工計画提出時は計画書に含める。

- ・工事カルテ作成、登録

受注者は、受注時または変更時において工事請負代金額が500万円以上の工事について、工事实績情報サービス(コリンズ)に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事实績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し監督職員の確認を受けたうえ、受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日などを除き10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から土曜日、日曜日、祝日などを除き10日以内に、完成時は工事完成後、土曜日、日曜日、祝日などを除き10日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請をしなければならない。登録対象は、工事請負代金額500万円以上(単価契約の場合は契約総額)のすべての工事として、受注・変更・完成・訂正時にそれぞれ登録するものとする。

なお、変更登録時は、工期、技術者に変更が生じた場合に行うものとし、工事請負代金のみ変更の場合は、原則として登録を必要としない。

また、登録機関発行の「登録内容確認書」が受注者に届いた際には、速やかに監督職員に提示しなければならない。

なお、変更時と工事完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提示を省略できるものとする。

- ・建設業退職金共済証紙購入状況報告書 様式第6-1号 契約締結後 1箇月以内

金融機関で建設業退職金共済証紙を購入して、建設業退職金共済証紙購入状況報告書に掛金収納書を貼付して提出する。

- ・建設業退職金共済証紙不購入理由報告書 様式第6-2号 契約締結後 1箇月以内

※前項の証紙を購入しない場合及び他の退職金制度に加入している場合に提出する。(下請含む)

- ・建設労災補償制度加入状況報告書 様式第 7号 契約締結後 5日以内

※請負金額が1,000万円以上の場合、建設業福祉共済団の建設労災補償共済制度加入証明書(他の任意の労災補償制度に加入している場合は、その加入を証する書面)を添付する。

- ・建設副産物関係書類 任意様式

※請負金額500万円以上。位置図、運搬経路図を添付。施工計画提出時は計画書に含める。

- ・再生資源利用計画書 共通仕様書様式 第114号

※資源有効利用促進法に定められた一定規模以上の工事。

- ・再生資源利用促進計画書 共通仕様書様式 第115号

※資源有効利用促進法に定められた一定規模以上の工事。

(4) 工事着手後

・ 工事履行報告書	様式第11号	1 箇月毎 (翌月初め)
・ 材料確認書	様式第14号	その都度 (材料検査前)
・ 検査願	様式第15号	その都度 (検査前)
・ 工事打合簿	様式第27号	その都度
・ 確認・立会依頼書	様式第28号	その都度

(5) 工事完成時

・ 完成届	様式第23号	工事完成後
・ 完成図書	任意様式	工事完成後
・ 工事写真	任意様式	工事完成後
・ 引渡書	様式第24号	完成検査合格後

(6) 施工計画書

① 受注者は、施工計画書を作成する場合、次の各項目の中から監督員の指示する書類を施工計画書に添付しなければならない。

- ・ 工事概要
- ・ 計画工程表
- ・ 施工体制台帳・施工体系図
- ・ 現場組織表
- ・ 有資格者一覧表
- ・ 緊急時の体制及び対応
- ・ 安全管理
- ・ 交通管理
- ・ 保安施設配置計画書
- ・ 指定及び主要機械
- ・ 主要資材
- ・ 施工方法
- ・ 施工管理計画
- ・ 環境対策
- ・ 現場作業環境の整備
- ・ 再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法
- ・ その他

② 施工計画の内容に変更が生じ、その内容が重要な場合においては、その都度関連するものについて、変更後追加分としての施工計画書を提出すること。

③ 監督員が特に指示した事項については、さらに詳細な施工計画書を提出しなければならない。

(7) その他、監督員が必要と認め指示するもの。

5 工事施工

(1) 受注者は、工事着手に先立ち、工事内容を十分に把握し、さらに現地の状況、関連工事その他について綿密な調査を行った上で施工計画を立てること。

(2) 受注者は、監督員と設計、施工について打合せの上、工事打合簿を作成し、承認を得てから、

製作及び現場施工に着手すること。

- (3) 資格を必要とする作業は、それぞれの資格を有する者が行わなければならない。
- (4) 受注者は、工事の施工に当たって付近の住民や通行人及び通行車両に迷惑が掛からないよう、公害の防止や交通事故防止に努めなければならない。
- (5) 既設構造物を汚染若しくは損傷させた時は、受注者の責任において復旧しなければならない。
- (6) 現場の状況、事業効果の面等から、設計内容、数量、施工延長等について変更が適当と認められる場合は、監督員と協議し対応すること。

6 工事現場管理

- (1) 受注者は、「土木工事安全施工技術指針（平成21年3月国土交通省大臣官房技術調査課）」を参考にし、常に工事の安全に留意し現場管理を行い、災害の防止に努めなければならない。
- (2) 受注者は、「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針（昭和62年3月30日建設大臣官房技術審議官通達）」を参考にし、工事に伴う騒音振動の発生をできる限り防止し、生活環境の保安に努めなければならない。
- (3) 受注者は、「建設工事公衆災害防止対策要綱（平成5年1月12日建設事務次官通達）」に準拠して、災害の防止に努めなければならない。
- (4) 受注者は、工事現場が隣接し、又は同一場所において、別途工事がある場合は、常に相互協調して紛争を起こさないように処置しなければならない。
- (5) 受注者は、豪雨、出水、その他の天災に対しては、平素から気象状況などについて十分な注意を払い、常にこれに対処できる準備をしておかななければならない。
- (6) 受注者は、工事の実施に影響を及ぼす事故、人命に損傷を生じた事故、又は第三者に損害を与えた事故が発生したときは、遅滞なくその状況を監督員に報告しなければならない。

7 施工確認

受注者は、あらかじめ監督員の指示した箇所など主要な工事段階の区切などには監督員の立会いを受けなければならない。（「確認・立会依頼書」様式第28号）

8 休日又は夜間における作業

受注者は、工実施の都合上、休日又は夜間に作業を行う必要がある場合は、あらかじめ監督員に報告し承諾を得なければならない。

9 跡片付け

- (1) 踏み荒らした付近地は、受注者の責任により処理しなければならない。
- (2) 受注者は、跡埋め、跡片付け、清掃等を工事完成日までに完了しなければならない。

10 完成図書

完成図書の作成は、次の要領によるものとする。

(1) 工事写真

- ① 工事写真でデジタルカメラを使用する場合は、コピー用紙等にカラー印刷した写真も可とす

る。ただし、このとき画像加工（画像自動修正等の軽微な処理は可）を行わないこと。

② 工事写真は、同一箇所の施工前と施工中と施工後の状況比較を撮影するなど、施工状況がわかりやすいように工夫すること。

③ 工事写真は、完成後不可視となる箇所の撮影を入念に行うこと。

(2) 安全衛生対策関係書類（請負金額130万円以上）

① 安全教育、訓練などの実施記録表（実施日ごと）及び実施状況写真

② 安全衛生委員会などの議事録（実施した場合）

(3) 主要材料総括表（請負金額130万円未満で材料の増減がない場合には提出不要）

(4) 出来形管理関係書類

① 出来形管理一覧表

② 出来形管理表

③ 出来形管理図

(5) 品質管理関係書類（請負金額130万円以上）

① 品質管理一覧表

② 機器試験成績表

(6) 完成図

① 紙図面（原則としてA3版又はA4版）

② 電子データ

ア 電子データは監督員が要求した場合、監督員が指示した項目について、紙ファイルに加えて提出することとする。

イ 電子データで納品するファイル形式は、岩手県電子納品ガイドラインによることとするが、図面ファイルはPDF形式、JWW形式及びDXF形式の3種類の形式で納品すること。

ウ 電子データ作成に使用する機器及びソフトは、常に最新のウイルス対策修正プログラムを適用し、作成したデータファイルは、提出前にウイルスチェックを行うこと。

(7) その他

① 機器取扱説明書

② 保証書

③ アフターサービス連絡表

(8) 簿冊形式及び提出部数

① 完成図書及び工事写真は、原則としてA4版縦のファイルに納めること。

② 完成図書は2部、工事写真は1部提出するものとする。

③ 電子データの場合は、CD-R又はDVD-Rを1式提出するものとする。

11 工事検査

(1) 検査は、次の各項目について行うものとする。

① 機器試験

この工事に使用する機器のうち、監督員が必要と認める主要機器、材料については、社内試験成績表を提出するものとする。

② 中間検査

工事段階の区切り、工事完了後では検査できない部分等、監督員が必要と認めるものについては、発注者の中間検査を行うものとする。

③ 完成検査

工事完了に当たっては、発注者の規定に基づき完成検査を行うものとする。

- (2) 受注者は、工事の既済部分検査、中間検査及び完成検査に当たっては、現場代理人及び主任技術者が立会いのうえ検査を受けなければならない。
- (3) 受注者は、検査のために必要な資料の提出、測量、その他の処理について、検査員の指示に従わなければならない。
- (4) 受注者は、監督員及び検査員からの指摘により、工事、書類等に不備が発見された場合には、速やかに再施工又は手直しをし、再検査を受けなければならない。
- (5) 受注者は、完成検査において、既済部分検査及び中間検査に合格した既済部分（部分引渡しされた箇所を除く）に不備が発見された場合は、前項と同様に、速やかに再施工又は手直しをし、再検査を受けなければならない。

12 受注者の費用負担

次の事項に要する費用は、受注者の負担とする。

- (1) 軽微な事項で、設計図書に示されていなくとも、工事施工上当然必要と認められるもの。
- (2) 現場の収まり及び取合いによる、機材の設置位置、設置方法等の軽微な変更。
- (3) 各種の試験、検査及び施工管理に要する費用。

13 施工の保証

この工事の保証は、本工事目的物の引渡後1箇年を保証期間とする。保証期間中に受注者の責任とみなされる原因によって故障等の不具合が生じた場合、受注者は、その責任と負担により、補修、取替、その他必要な処置を施すものとする。

14 疑義の解決

受注者は、本仕様書及び設計図書に疑義を生じた場合、また、記載なき事項については、監督員と協議の上解決するものとする。

第 2 章 特記仕様

1 工事概要

本工事は、老朽化した大迫第 1 配水池の修繕を行い、安全で安定した水運用の維持を図るものであり、工事概要は以下のとおりである。

- (1) 大迫第 1 配水池屋上の防水修繕を行う。
- (2) 大迫第 1 配水池躯体外壁の補修修繕を行う。
- (3) 大迫第 1 配水池屋外螺旋鉄階段の撤去を行う。

2 工事場所

本工事の工事場所は、花巻市大迫町大迫地内 大迫中央浄水場の敷地内である。

3 既存設備概要

(1) 大迫第 1 配水池

- ① 供用開始 1981年度
- ② 構造 PC配水池（屋上ドーム型）
- ③ 寸法 D14.00m×H3.50m×1槽=538m³

4 施工方法

施工方法の詳細は、別添の改修特記仕様書(1)から(5)のとおりとする。

5 注意事項

- (1) 本工事は、稼働中の上水道施設での作業であることから、衛生面には特段の注意を払うこと。
- (2) 作業現場において、本工事施工範囲以外の箇所でも何らかの異常を発見した場合は、速やかに監督員に報告すること。
- (3) 作業により発生した不要部品や廃材は、適正な方法により場外処分とすること。

以 上

令和3年度

大迫第1配水池修繕

実施設計図面

岩手中部水道企業団

4 外 壁 改 修 工 事	施工数量調査	調査範囲 ・ 外壁改修範囲 ・ 図示範囲 [4.1.1]	調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び 錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の 形状寸法等を調査する。 コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。 塗仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表 示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 図示 調査報告書の部数 ・ 2部
	(コンクリート打放 し仕上げ外壁)	1-1 ひび割れ部 改修工法	※ 樹脂注入工法 [4.2.2] 材料 建築補修用注入エポキシ樹脂 ・ 低粘度形 ・ 中粘度形 注入工法の種類 [4.3.4] ※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 エポキシ樹脂の注入量(m ³ /箇所) ・ 130ml/m ² 注入孔間隔(mm) ※ 200~300 [4.3.4] ・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 注入孔間隔(mm) [4.3.4] ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 注入孔間隔(mm) [4.3.4] コア抜き検査 [4.3.4] ・ 行う(抜き取り部の補修方法)
	1-2 欠損部改修工法	※ 充填工法 [4.1.4]	・ Uカットシール材充填工法 [4.2.2] 材料 シーリング用材料 種類 ※ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 [4.2.2] 工法 シーリング用材料のうえへのポリマーセメントモルタルの充填 ・ 行う [4.3.5] ・ シール工法 [4.2.2]

4-2 外 壁 改 修 工 事	3-2 ひび割れ部 改修工法 (タイル非除去 の場合)	・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [4.1.4] アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ ステンレス SUS304, 呼び径 4mm の丸棒で全ネジ切り加工したもの 浮き部に対する本数(本/m ²) [4.4.11][表 4.4.3] ※ 一般部分 1.3、指定部分 2.0 アンカーピン固定用エポキシ樹脂 充てん量(m ³ /箇所) ※ 2.5 [4.4.11] 注入孔の箇所数(箇所/m ²) [4.4.11][表 4.4.3] ※ 一般部分 1.2、指定部分 2.0 注入用エポキシ樹脂 [4.4.11] 注入量(m ³ /箇所) ※ 2.5
	3-3 ひび割れ部 改修工法 (タイル除去 の場合)	・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [4.1.4] アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ ステンレス SUS304, 呼び径 4mm の丸棒で全ネジ切り加工したもの 浮き部に対する本数(本/m ²) [4.1.4][4.4.11][表 4.4.3][4.4.12] ※ 一般部分 1.3、指定部分 2.0 アンカーピン固定用ポリマーセメントスラリー [4.4.12] 充てん量(m ³ /箇所) ※ 5.0 注入孔の箇所数(箇所/m ²) [4.4.11][表 4.4.3][4.4.12] ※ 一般部分 1.2、指定部分 2.0 ポリマーセメントスラリー 製造所() [4.2.2] ・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [4.1.4] 注入口付アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ ステンレス SUS304, 呼び径 6mm [4.2.2] 浮き部に対する本数(本/m ²) [4.4.13] ※ 一般部分 9、指定部分 1.6 注入用エポキシ樹脂 [4.4.13] 注入量(m ³ /箇所) ※ 2.5 ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [4.1.4] 注入口付アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ ステンレス SUS304, 呼び径 6mm [4.2.2] 浮き部に対する本数(本/m ²) [表 4.4.4][4.4.14] ※ 一般部分 9、指定部分 1.6 注入孔の箇所数(箇所/m ²) [表 4.4.4][4.4.14] ※ 一般部分 9、指定部分 1.6 注入用エポキシ樹脂 [4.4.14] 注入量(m ³ /箇所) ※ 2.5 ・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [4.1.4] 注入口付アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ ステンレス SUS304, 呼び径 6mm [4.2.2] 浮き部に対する本数(本/m ²) [4.4.14][表 4.4.4][4.4.15] ※ 一般部分 9、指定部分 1.6 注入孔の箇所数(箇所/m ²) [4.4.14][表 4.4.4][4.4.15] ※ 一般部分 9、指定部分 1.6 ポリマーセメントスラリー 製造所() [4.2.2] 注入量(m ³ /箇所) ※ 5.0 [4.4.15] ・ 充填工法(欠損部面積=0.25m ² /箇所 程度以下の場合) [4.1.4][4.2.2] (エポキシ樹脂モルタル [4.3.7][4.4.8] ・ ポリマーセメントモルタル [4.1.4][4.2.2] モルタル塗替え工法 [4.1.4][4.2.2] 材料 [4.2.2] 既製目地材 ・ 適用する(形状)
	3-4 欠損部改修工法	・ 充填工法(欠損部面積=0.25m ² /箇所 程度以下の場合) [4.1.4][4.2.2] (エポキシ樹脂モルタル [4.3.7][4.4.8] ・ ポリマーセメントモルタル [4.1.4][4.2.2] モルタル塗替え工法 [4.1.4][4.2.2] 材料 [4.2.2] 既製目地材 ・ 適用する(形状)

4-3 外 壁 改 修 工 事	3-2 ひび割れ部 改修工法 (タイル非除去 の場合)	樹脂注入工法 [4.1.4][4.5.5] 材料 建築補修用注入エポキシ樹脂 [4.2.2] ・ 低粘度形 ・ 中粘度形 注入工法の種類 [4.3.4][4.5.5] ※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 [4.3.4][4.5.5] エポキシ樹脂の注入量(m ³ /箇所) ・ 130ml/m ² 注入孔間隔(mm) ※ 200~300 [4.3.4][4.5.5] ・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 [4.3.4][4.5.5] 注入孔間隔(mm) [4.3.4][4.5.5] ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 [4.3.4][4.5.5] 注入孔間隔(mm) [4.3.4][4.5.5] コア抜き検査 [4.3.4][4.5.5] ・ 行う(抜き取り部の補修方法)																											
	3-3 ひび割れ部 改修工法 (タイル除去 の場合)	ひび割れ部改修 [4.1.4][4.5.2] 樹脂注入工法 [4.2.2] 材料 建築補修用注入エポキシ樹脂 ・ 低粘度形 ・ 中粘度形 注入工法の種類 [4.3.4][4.5.2] ※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 [4.3.4][4.5.2] エポキシ樹脂の注入量(m ³ /箇所) ・ 130ml/m ² 注入孔間隔(mm) ※ 200~300 [4.3.4][4.5.2] ・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 [4.3.4][4.5.2] 注入孔間隔(mm) [4.3.4][4.5.2] ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 [4.3.4][4.5.2] 注入孔間隔(mm) [4.3.4][4.5.2] コア抜き検査 [4.3.4][4.5.2] ・ 行う(抜き取り部の補修方法) ・ Uカットシール材充てん工法 [4.2.2] 材料 シーリング用材料 種類 ※ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 [4.2.2] 工法 シーリング用材料のうえへのポリマーセメントモルタルの充てん ・ 行う [4.3.5][4.5.6]																											
	3-4 欠損部改修工法	・ タイル部分強替え工法 [4.1.4] 材料 [4.2.2] 接着剤 ※ ポリマーセメントモルタル ・ 変成シリコン樹脂 ・ ウレタン樹脂 ・ タイル強替え工法 [4.1.4] タイル張りの工法 [4.5.8][表 4.5.4] <table border="1"> <tr> <th colspan="2">適用タイル形状</th> <th colspan="2">工 法</th> </tr> <tr> <td>外装タイル</td> <td></td> <td>・ 密着張り</td> <td>・ 改良圧着張り</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 改良積上げ張り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>内装タイル以外の ユニットタイル</td> <td></td> <td>・ マスク張り</td> <td>・ モザイクタイル張り</td> </tr> </table> 伸縮調整目地及び、ひび割れ誘発目地 [4.5.8] 位置 ※ 改修仕様表 4.5.11による 目地寸法 [3.7.3][4.5.8] <table border="1"> <tr> <th>箇所</th> <th>コンクリート打継ぎ目地、 ひび割れ誘発目地</th> <th>ガラス回り</th> <th>左記以外</th> </tr> <tr> <td>幅(mm)</td> <td>※ 20以上</td> <td>※ 5以上</td> <td>※ 10以上</td> </tr> <tr> <td>深さ(mm)</td> <td>※ 10以上</td> <td>※ 5以上</td> <td>※ 10以上</td> </tr> </table>	適用タイル形状		工 法		外装タイル		・ 密着張り	・ 改良圧着張り			・ 改良積上げ張り		内装タイル以外の ユニットタイル		・ マスク張り	・ モザイクタイル張り	箇所	コンクリート打継ぎ目地、 ひび割れ誘発目地	ガラス回り	左記以外	幅(mm)	※ 20以上	※ 5以上	※ 10以上	深さ(mm)	※ 10以上	※ 5以上
適用タイル形状		工 法																											
外装タイル		・ 密着張り	・ 改良圧着張り																										
		・ 改良積上げ張り																											
内装タイル以外の ユニットタイル		・ マスク張り	・ モザイクタイル張り																										
箇所	コンクリート打継ぎ目地、 ひび割れ誘発目地	ガラス回り	左記以外																										
幅(mm)	※ 20以上	※ 5以上	※ 10以上																										
深さ(mm)	※ 10以上	※ 5以上	※ 10以上																										

4-4 外 壁 改 修 工 事	3-2 ひび割れ部 改修工法 (タイル非除去 の場合)	・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [4.1.4] アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ ステンレス SUS304, 呼び径 4mm の丸棒で全ネジ切り加工したもの 浮き部に対する本数(本/m ²) [4.4.11][表 4.4.3] ※ 一般部分 1.3、指定部分 2.0 [4.4.12][4.5.11] アンカーピン固定用ポリマーセメントスラリー [4.4.12][4.5.11] 充てん量(m ³ /箇所) ※ 5.0 注入孔の箇所数(箇所/m ²) [4.4.11][表 4.4.3] ※ 一般部分 1.2、指定部分 2.0 [4.4.12][4.5.11] ポリマーセメントスラリー 製造所() [4.2.2] ・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [4.1.4] 注入口付アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ ステンレス SUS304, 呼び径 6mm [4.2.2] 浮き部に対する本数(本/m ²) [4.4.13][4.5.12] ※ 一般部分 9、指定部分 1.6 [4.4.13][4.5.12] 注入用エポキシ樹脂 [4.4.13][4.5.12] 注入量(m ³ /箇所) ※ 2.5 ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [4.1.4] 注入口付アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ ステンレス SUS304, 呼び径 6mm [4.2.2] 浮き部に対する本数(本/m ²) [4.4.14][表 4.4.4][4.5.13] ※ 一般部分 9、指定部分 1.6 [4.4.14][表 4.4.4][4.5.13] 注入孔の箇所数(箇所/m ²) [4.4.14][表 4.4.4][4.5.13] ※ 一般部分 9、指定部分 1.6 [4.4.14][4.5.13] 注入用エポキシ樹脂 [4.4.14][4.5.13] 注入量(m ³ /箇所) ※ 2.5 ・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [4.1.4] 注入口付アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ ステンレス SUS304, 呼び径 6mm [4.2.2] 浮き部に対する本数(本/m ²) [4.4.14][表 4.4.4] ※ 一般部分 9、指定部分 1.6 [4.4.15][4.5.14] 注入孔の箇所数(箇所/m ²) [4.4.14][表 4.4.4] ※ 一般部分 9、指定部分 1.6 [4.4.15][4.5.14] ポリマーセメントスラリー 製造所() [4.2.2] 注入量(m ³ /箇所) ※ 5.0 [4.4.15][4.5.14] ・ 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法 [4.1.4] 注入口付アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ ステンレス SUS304, 呼び径 6mm [4.2.2] 浮き部に対する本数(本/m ²) [4.5.15] 注入用エポキシ樹脂 [4.4.13][4.5.15] 注入量(m ³ /箇所) ※ 2.5 ・ タイル部分強替え工法 [4.1.4] 材料 [4.2.2] 接着剤 ※ ポリマーセメントモルタル ・ 変成シリコン樹脂 ・ ウレタン樹脂 ・ タイル強替え工法 [4.1.4] タイル張りの工法 [4.5.8][表 4.5.4] <table border="1"> <tr> <th colspan="2">適用タイル形状</th> <th colspan="2">工 法</th> </tr> <tr> <td>外装タイル</td> <td></td> <td>・ 密着張り</td> <td>・ 改良圧着張り</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 改良積上げ張り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>内装タイル以外の ユニットタイル</td> <td></td> <td>・ マスク張り</td> <td>・ モザイクタイル張り</td> </tr> </table> 伸縮調整目地及び、ひび割れ誘発目地 [4.5.8] 位置 ※ 改修仕様表 4.5.11による 目地寸法 [3.7.3][4.5.8] <table border="1"> <tr> <th>箇所</th> <th>コンクリート打継ぎ目地、 ひび割れ誘発目地</th> <th>ガラス回り</th> <th>左記以外</th> </tr> <tr> <td>幅(mm)</td> <td>※ 20以上</td> <td>※ 5以上</td> <td>※ 10以上</td> </tr> <tr> <td>深さ(mm)</td> <td>※ 10以上</td> <td>※ 5以上</td> <td>※ 10以上</td> </tr> </table>	適用タイル形状		工 法		外装タイル		・ 密着張り	・ 改良圧着張り			・ 改良積上げ張り		内装タイル以外の ユニットタイル		・ マスク張り	・ モザイクタイル張り	箇所	コンクリート打継ぎ目地、 ひび割れ誘発目地	ガラス回り	左記以外	幅(mm)	※ 20以上	※ 5以上	※ 10以上	深さ(mm)	※ 10以上	※ 5以上	※ 10以上
	適用タイル形状		工 法																											
	外装タイル		・ 密着張り	・ 改良圧着張り																										
		・ 改良積上げ張り																												
内装タイル以外の ユニットタイル		・ マスク張り	・ モザイクタイル張り																											
箇所	コンクリート打継ぎ目地、 ひび割れ誘発目地	ガラス回り	左記以外																											
幅(mm)	※ 20以上	※ 5以上	※ 10以上																											
深さ(mm)	※ 10以上	※ 5以上	※ 10以上																											
3-3 ひび割れ部 改修工法 (タイル除去 の場合)	・ 目地ひび割れ部改修工法 [4.1.4] 材料 [4.2.2] シーリング用材料 種類 ※ 改修仕様表 3.7.1による [4.2.2] ・ 伸縮目地改修工法 [4.1.4] 伸縮目地の位置 目地寸法 [4.5.16] <table border="1"> <tr> <th>箇所</th> <th>コンクリート打継ぎ目地、 ひび割れ誘発目地</th> <th>左記以外</th> </tr> <tr> <td>幅(mm)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>深さ(mm)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 材料 [4.2.2] シーリング用材料 種類 ※ 改修仕様表 3.7.1による [4.2.2]	箇所	コンクリート打継ぎ目地、 ひび割れ誘発目地	左記以外	幅(mm)			深さ(mm)																						
箇所	コンクリート打継ぎ目地、 ひび割れ誘発目地	左記以外																												
幅(mm)																														
深さ(mm)																														
3-4 欠損部改修工法	・ 目地ひび割れ部改修工法 [4.1.4] 材料 [4.2.2] シーリング用材料 種類 ※ 改修仕様表 3.7.1による [4.2.2]																													

事業名	大迫第1配水池修繕		
工事名	改修特記仕様書(2)		
縮尺	NON	図面番号	A-02
事業者	岩手中部水道企業団		

4. 塗り仕上げ 外壁等

Table with columns: 種類, 呼び名, 仕上の形状, 工法, 備考. Rows include 新規格仕上塗材, 薄付け仕上塗材, 厚付け仕上塗材, 複層仕上塗材, 可とう形改修用仕上塗材.

Table with columns: 種類, 仕上材. Rows include マスチック塗材, 防火材料の指定, 既存塗膜劣化部の除去, 下地処理の工法, 下地調整.

1. 改修工法

かぶせ工法 ・ 撤去工法 [5.1.3]
新規に金属製建具を設置する [5.1.3]
壁開口の開け方 ()
建具周囲の補修方法 ()
補修範囲 ※ 図示

Table with columns: 性能等級, 耐風圧性, 気密性, 水密性, 枠の見込み寸法 (mm).

Table with columns: 種別, 用途. Rows include 防音ドアセット, 断熱ドアセット, 耐震ドアセット, 複層ドアセット.

Table with columns: 種類, 材種, 径, 網目. Rows include 防音網, 断熱網, 耐震網.

性能等級 [5.3.2][表5.3.1~3]
外部に面する建具
・ A種 (建具符号: ・ 建具表による)
・ B種 (建具符号: ・ 建具表による)
・ C種 (建具符号: ・ 建具表による)

枠の見込み寸法 ・ 建具表による [5.3.4]
表面色 ※ 標準色 ・ 特記色 [5.3.4]
水切り板、ぜん板 ※ 図示 [5.3.5]
ガラス ※ 複層ガラス

性能等級 [5.4.2][表5.4.1]
簡易気密型ドアセット ・ 適用する 気密性の等級 (・ A-3)
・ 適用する 水密性の等級 (・ W-1)
建具符号: ・ 建具表による

性能等級 [5.5.2]
簡易気密型ドアセット ・ 適用する 気密性の等級 (・ A-3)
建具符号: ・ 建具表による

鋼板 ※ 重鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 [5.5.3]
召合せ、緩小口包み板の材質 [5.5.3]
※ 鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム合金の押出成形材

鋼板 ※ SUS 304 ・ SUS 430JIL ・ SUS 431 (室内のみ) [5.6.3]
表面仕上げ [5.6.4]
※ H L 仕上げ
曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ [5.6.5]

金物の種類、見え掛り部の材質 ※ 改修仕様表5.7.1による [5.7.2][表5.7.1]
樹脂製建具に使用する丁番 ※ 改修仕様表5.7.3による [5.7.3]
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント等の取付け位置 ※ 図示 [5.7.3]
マスターキーの製作 ・ 製作する ・ 製作しない [5.7.4]
その他の鍵 ※ 各室3本1組

9. 自動ドア

スライディングドア用及びスイングドア用自動ドア開閉装置の性能値 [5.8.2]
スライディングドア用 ※ 改修仕様表5.8.1による
スイングドア用 ※ 改修仕様表5.8.2による

センサーの種類 ・ マットスイッチ ・ 光線 (反射) スイッチ ・ 熱線スイッチ [5.8.3]
・ 音波スイッチ ・ 光電スイッチ ・ 電波スイッチ
・ タッチスイッチ ・ 押しボタンスイッチ ・ ペダルスイッチ
・ 多機能トリスイッチ

寒冷地における凍結防止措置 [5.8.3]
閉閉式上吊り引戸装置 [5.9.3]
※ 改修仕様表5.9.1による

シャッターの種類 ・ 一般重量シャッター ・ 外壁用防火シャッター [5.10.2]
・ 防煙シャッター ・ 屋内用防火シャッター
耐風圧強度 一般重量シャッター () N/m² [5.10.2]
外壁用防火シャッター () N/m²

閉閉機能による種類 ※ 上部電動式 (手動併用) ・ 上部手動式 [5.10.2]
一般重量シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない [5.10.2]
閉閉形式 ※ 手動式 ・ 上部電動式 (手動併用) [5.11.2]
耐風圧強度 () N/m² [5.11.2]

スラットの材質 ・ JIS G 3312 (溶融亜鉛めっき鋼板) [5.11.3]
めっきの付着量 (※ Z06又はF06)
・ JIS G 3322 (溶融亜鉛55%以上1-亜鉛めっき鋼板) [5.11.3]
めっきの付着量 (※ AZ90)

スラットの形状 ・ インターロックング形 ・ オーバーラッピング形 [5.11.4]

セクション材料 による区分 [5.12.2]
開閉方式 による区分
収納形式 による区分
ガイドレールの材質

※ スチールタイプ ※ バランス式 ・ スタンダード部 ※ 溶融亜鉛めっき鋼板 [5.12.2]
・ アルミニウムタイプ ※ チェーン式 ・ ローヘッド部 ※ ステンレス鋼板
・ ファイバーグラスタイプ ・ 電動式 ・ ハイリフト部
・ パーチカル形

耐風圧区分 (・ 125 ・ 100 ・ 75 ・ 50) Pa [5.12.2]
フロートガラス ※ 厚さ、種類は図示による [5.13.2]
型板ガラス ※ 品種、厚さ、種類は図示による [5.13.2]

網入板ガラス及び線入板ガラス [5.13.2]
厚さ ※ 図示による
品種 ・ ひし網入型板ガラス ・ 角網入型板ガラス [5.13.2]
・ 角網入型板ガラス ・ 線入型板ガラス
・ ひし網入型板ガラス ・ 線入型板ガラス

合わせガラス ※ 厚さは図示による [5.13.2]
品種 構成種類 性能
フロート合わせガラス ・ フロート板合わせガラス ・ I 類 [5.13.2]
・ 熱線吸収、フロート板合わせガラス

網入型合わせガラス ・ 網入型、フロート板合わせガラス ・ II-1類 [5.13.2]
・ 網入型、熱線吸収板合わせガラス ・ II-2類 ・ III類

強化ガラス ※ 厚さは図示による [5.13.2]
材料板ガラスによる種類 種類 性能 [5.13.2]
フロートガラス ・ フロート強化ガラス ・ I 類 [5.13.2]
・ 熱線吸収強化ガラス ・ III類

型板ガラス ・ 型板強化ガラス [5.13.2]
熱線吸収板ガラス [5.13.2]
材料板ガラスの種類 性能 色 調

熱線吸収フロート板ガラス ・ 1種 ・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ [5.13.2]
熱線吸収網入型板ガラス ・ 2種

複層ガラス ※ 厚さは図示による [5.13.2]
品種 断熱性 日射熱通へい性

断熱複層ガラス [5.13.2]
・ 1種 U1 [5.13.2]
・ 2種 U2 [5.13.2]
・ 3種 U-3-1 ・ U-3-2 [5.13.2]

日射熱通へい複層ガラス [5.13.2]
・ 4種 E-4 [5.13.2]
・ 5種 E-5 [5.13.2]

熱線反射板ガラス ※ 厚さは図示による [5.13.2][5.13.4]
品種 色 調 日射熱通へい性 耐久性 反射皮膜面 [5.13.2]

熱線反射ガラス [5.13.2]
・ ブルー ・ 1種 A種 [5.13.2]
・ グレー ・ 2種 ・ A種 ・ B種 [5.13.2]
・ 高性能熱線反射ガラス ・ ブロンズ ・ 3種 B種 [5.13.2]
・ シルバー

映像調整 ・ 行う ・ 行わない [5.13.2]
倍強度ガラス [5.13.2]
材料板ガラスによる種類の名称 色 調 [5.13.2]
フロート倍強度ガラス
熱線吸収倍強度ガラス ・ グレー ・ ブルー ・ ブロンズ

建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ [5.13.2]
アルミニウム製 ・ シーリング材 [5.13.2]
・ ガスケット材 ・ 改修仕様表5.13.1による [5.13.2]
・ グレージングチャンネル形 ・ 図示
芯材

鋼製及び [5.13.2]
鋼製軽量 ・ シーリング材 ・ 改修仕様表5.13.1による [5.13.2]
ステンレス製 ・ シーリング材 ・ 改修仕様表5.13.1による [5.13.2]
形状 ・ 図示

建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 [5.13.5]
※ 適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 値の風圧力に対応した工法)
・ 適用しない

ガラスブロック [5.13.5]
ガラスブロックの形状、寸法、厚さ、色調 ※ 図示による
目地幅 (mm) 平積み ※ 8~15 ・ 15~25 [5.13.5]
曲面積み 外側 ※ 15以下
内側 ※ 6以下

1. 改修範囲

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 [6.1.3]
※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲

※ 壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示
天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修 [6.2.2]
※ 既存のまま ・ 図示

ビニル床シート等の除去 ※ 仕上げ材のみ (接着剤とも) [6.2.2]
・ 下地モルタルとも (・ 図示の範囲 ・ 撤去範囲全て)
合成樹脂塗料の除去工法 ・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法

コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂 [6.3.2]
モルタルは、4層外壁改修工事による。
改修後の床の清掃範囲 ※ 図示

間仕切壁撤去に伴う地の構造体の補修 [6.3.2]
※ 改修標準仕様書4.9によるモルタル塗り
(※ 厚さ 25mm を超える場合の補強 ・ 行う ・ 行わない)
・ 図示

表面の仕上げ [6.5.1][表6.5.1]
仕上げの種類 適用箇所 含水率 [6.5.2]

Table with columns: 仕上げの種類, 適用箇所, 含水率. Rows include A種, B種, C種, D種.

「製材の日本産林規格」による下地用針葉樹製材 [6.5.2]
施工箇所 樹種 等級 形状 寸法 (mm) 含水率 [6.5.2]

Table with columns: 施工箇所, 樹種, 等級, 形状, 寸法 (mm), 含水率. Rows include A種, B種.

「製材の日本産林規格」による造作用針葉樹製材 [6.5.2]
施工箇所 樹種 等級 形状 寸法 (mm) 含水率 [6.5.2]

Table with columns: 施工箇所, 樹種, 等級, 形状, 寸法 (mm), 含水率. Rows include A種, B種.

「製材の日本産林規格」による広葉樹製材 [6.5.2]
施工箇所 樹種 等級 形状 寸法 (mm) 含水率 [6.5.2]

Table with columns: 施工箇所, 樹種, 等級, 形状, 寸法 (mm), 含水率. Rows include A種, B種.

「製材の日本産林規格」による広葉樹製材 [6.5.2]
施工箇所 樹種 寸法 (mm) 材質の品質 防虫処理 難燃処理 含水率 [6.5.2]

Table with columns: 施工箇所, 樹種, 寸法 (mm), 材質の品質, 防虫処理, 難燃処理, 含水率. Rows include A種, B種.

代用樹種を使用できない箇所 ([6.5.2]
開伐材等の適用 ・ 適用しない)
ホルムアルデヒド放数量 ※ 規制対象外 [6.5.2]

「製材材の日本産林規格」による造作用葉材 [6.5.2]
施工箇所 樹種 見付材面の品質 寸法 (mm) 開伐材の適用 [6.5.2]

Table with columns: 施工箇所, 樹種, 見付材面の品質, 寸法 (mm), 開伐材の適用. Rows include 1等, 2等.

「製材材の日本産林規格」による化粧びり造作用葉材 [6.5.2]
施工箇所 樹種 見付材面の品質 寸法 (mm) 化粧薄板の厚さ (mm) 開伐材の適用 [6.5.2]

Table with columns: 施工箇所, 樹種, 見付材面の品質, 寸法 (mm), 化粧薄板の厚さ (mm), 開伐材の適用. Rows include 化粧薄板, 芯材.

「製材材の日本産林規格」による化粧びり造作用葉材 [6.5.2]
施工箇所 樹種 寸法 (mm) 見付材面の品質 含水率 開伐材の適用 [6.5.2]

Table with columns: 施工箇所, 樹種, 寸法 (mm), 見付材面の品質, 含水率, 開伐材の適用. Rows include 化粧薄板, 芯材.

「製材材の日本産林規格」以外の化粧びり造作用葉材 [6.5.2]
施工箇所 樹種 寸法 (mm) 見付材面の品質 含水率 開伐材の適用 [6.5.2]

Table with columns: 施工箇所, 樹種, 寸法 (mm), 見付材面の品質, 含水率, 開伐材の適用. Rows include 化粧薄板, 芯材.

「製材材の日本産林規格」以外の化粧びり造作用葉材 [6.5.2]
施工箇所 樹種 寸法 (mm) 見付材面の品質 含水率 開伐材の適用 [6.5.2]

Table with columns: 施工箇所, 樹種, 寸法 (mm), 見付材面の品質, 含水率, 開伐材の適用. Rows include 化粧薄板, 芯材.

Table with columns: 事業名, 工事名, 図面名称, 縮尺, 事業者. Values: 大迫第1配水池修繕, 改修特記仕様書(3), NON, 岩手中部水道企業団.

内装改修工事

7. 造作用単板積層材

Table with columns: 施工箇所, 樹種, 寸法 (mm), 化粧薄板の厚さ (mm), 見付材の面の品質, 含水率, 間伐材等の適用. Includes rows for 化粧薄板 and 化粧薄板+芯材.

Table with columns: 施工箇所, 厚さ (mm), 表面の化粧加工, 含水率, 防虫処理, 間伐材等の適用. Includes rows for 有 (加工) and 無 (等級).

Table with columns: 施工箇所, 厚さ (mm), 表面の化粧加工, 含水率, 防虫処理, 間伐材等の適用. Includes rows for 有 (加工) and 無 (等級).

8. 床張り用合板等

Table with columns: 施工箇所, 厚さ (mm), 表板の樹種名, 接合の程度, 板面の品質, 防虫処理, 難燃処理, 防火処理, 間伐材等の適用. Includes rows for 1種, 2種, 3種.

Table with columns: 施工箇所, 等級, 表板の樹種名, 接合の程度, 板面の品質, 厚さ (mm), 有効断面係数, 防虫処理, 強度等級, 間伐材等の適用. Includes rows for 2級以上, 1級.

Table with columns: 施工箇所, 表面の状況による区分, 曲げ強さによる区分, 接着剤による区分, 難燃性による区分, 厚さ (mm).

Table with columns: 施工箇所, 等級, 厚さ (mm). Includes rows for 1級, 2級, 3級, 4級.

接着剤 接着剤に含まれる可塑剤は、難燃性のものとする。ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外

Table with columns: 適用部位, 保存処理性能区分. Includes rows for K2, K3, K4.

ホド原料接着剤への薬剤混入による防虫・防蟻処理 適用部位: ()

9. 接合具等

10. 防虫・防蟻処理

Table with columns: 適用部位, 処理の方法. Includes rows for 改修標準仕様書6.5.5(a)(ii)②Aによる.

ホド原料接着剤への薬剤混入による防虫・防蟻処理 適用部位: ()

11. 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類 屋外・19型 ※25型 屋内 ※19型 ・25型 [6.6.2~4]
・ 屋外の軒天井、ピロティ天井等
・ 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※ 適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1・1.15・1.3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)
・ 適用しない

12. 軽量鉄骨壁下地

野縁の受、吊りボルト及びインサートの間隔 ・ 図示 ・ 周辺部の端からの間隔 ・ 図示
野縁の間隔 ・ 図示
既存の埋込みインサート ・ 使用する ・ 使用しない
あと施工アンカーの引抜き試験 ・ 行う (屋外の場合の方法:)
・ 行わない

13. ビニル床シート

Table with columns: 種類, JIS記号, 施工箇所, 色柄, 特殊機能, 厚さ (mm), 備考. Includes rows for 発泡層のないもの, 発泡層のあるもの.

工法 ※ 熱溶接工法 ・ 突付け (施工箇所:)
特殊機能
帯電防止 ・ 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2 以上 ~ 3.2 未満
又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1x10 ~ 1x10 Ω程度

14. ビニル床タイル

Table with columns: JIS記号, 施工箇所, 色柄, 寸法 (mm), 特殊機能, 厚さ (mm), 備考. Includes rows for F1, F2, F3, F4.

特殊機能
帯電防止 ・ 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2 以上 ~ 3.2 未満
又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1x10 ~ 1x10 Ω程度

ビニル床木
材質 軟質 ・ 硬質
高さ (mm) ※ 60 70 ・ 100
厚さ (mm) ※ 1.5以上

15. ゴム床タイル

色柄 ()
厚さ (mm) ・ 3.0 ・ 4.5 ・ 6.0 ・ 9.0
寸法 (mm) ()

16. カーペット敷き

Table with columns: 種類, バイル形状, 織り方, 色柄等, 帯電性, 備考. Includes rows for 1種, 2種, 3種.

下敷き材 ※ 反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm
・ タフテッドカーペット

Table with columns: バイル形状, バイル長さ (mm), 工法, 帯電性, 備考. Includes rows for カットバイル, ループバイル, レベルバイル.

下敷き材 (グリッパー工法の場合)
※ 反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm
・ ニードルパンチカーペット

厚さ (mm) ()
帯電性 ・ 適用する (性能: ※ 人体帯電電圧 3kV 以下)
・ 適用しない
備考 ()

Table with columns: バイル形状, 種類, 施工箇所, 寸法 (mm), 厚さ (mm), 備考. Includes rows for ループバイル, カットバイル, カット、ループ併用.

タイルカーペットの敷き方 平場 ※ 市松敷き ・ 模様流し
階段部分 ※ 模様流し ・ 市松敷き
見切り、押え金物 ・ 適用する (材質、形状等 ※ 図示)
・ 適用しない

内装改修工事

17. 合成樹脂塗床

Table with columns: 種別, 施工箇所, 工法, 仕上げの種類. Includes rows for 厚膜型塗床材, 弾性ウレタン樹脂系塗床, 厚膜型塗床材, エポキシ樹脂系塗床, 薄膜型塗床材, アクリル樹脂塗床 (JIS K 5970).

18. フローリング張り

Table with columns: 種類, 工法, 樹種, 厚さ (mm), 大きさ (mm), 仕上塗装, 間伐材等の適用. Includes rows for フローリングボード, フローリングブロック, モザイクパークット.

Table with columns: 種類, 工法, 樹種, 厚さ・大きさ (mm), 種別, 防湿処理, 仕上塗装, 間伐材等の適用. Includes rows for 複合種, フローリング, 複合2種, フローリング, 複合3種, フローリング.

19. 畳敷き

種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 (標準: IT-I・IT-II・IT-III・IT-IV・IT-V)
下地の種類 ・ 標準仕様書 表12.6.1による床板
・ ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロン [G])
畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。

20. セッコウボードその他ボード及び合板張り

Table with columns: 種類, JISの記号, 厚さ (mm), 規格等. Includes rows for 硬質木毛セメント板, 中質木毛セメント板, 普通木毛セメント板, 硬質木片セメント板, 普通木片セメント板.

・ けい酸カルシウム板 0.8 FK 1.0 FK タイプ2 (無石棉) ・ 6 ・ 8

・ ロックウール化粧吸音板 DR ・ フラットタイプ (・ 9 (不燃) ・ 12 ())
・ 凹凸タイプ (・ 12 (不燃) ・ 15 ())

・ ロックウール吸音ボード1号 RW-B ・ 11
・ グラスウール吸音ボード22K GW-B ・ 25 (ガラスクロス包)

・ セッコウボード GB-R ・ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃)

・ 不燃積層セッコウボード GB-NC 9.5 (不燃) 化粧無 (下地張り用)
化粧有 (トキバーチン模様)

・ シーディングセッコウボード GB-S 12.5 (不燃)

・ 強化セッコウボード GB-F ・ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃)

・ セッコウラスボード GB-L 9.5

・ 化粧セッコウボード (木目) GB-D 12.5 (不燃) 幅 440mm 程度
模様 (・ 柱目 ・ 板目) 専用下地材有り

・ 化粧セッコウボード (トバーチン模様) GB-D 9.5 (不燃)

内装改修工事

21. 壁紙張り

Table with columns: 施工箇所, 壁紙の種類, 厚さ (mm), 備考. Includes rows for 普通合板, 天然木化粧合板, 特殊加工化粧合板.

22. モルタル塗り

モルタル・プラスター面の下地調整 ※ R B種
コンクリート・A L C面の下地調整 ※ R B種
セッコウボード面の下地調整 ※ R B種

23. タイル張り

Table with columns: 施工箇所, 主な用途による区分, 形状寸法 (mm), 再生材の適用, 吸水率による区分, うわぐすり, 色, 耐摩耗性, 滑り抵抗性, 備考. Includes rows for 標準的な曲がりの役物は一体成形とする.

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り ・ 行う ・ 行わない
見本焼き ・ 行う ・ 行わない

内装壁タイル接着剤張りに使用する有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外

24. セルフレベリング材塗り

Table with columns: 種類, セッコウ系, セメント系, 厚さ (mm).

事業名: 大迫第1配水池修繕
工事名: 改修特記仕様書 (4)
縮尺: NON
事業者: 岩手中部水道企業団

1. 材料 [7.1.3]

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放数量 ※ 規制対象外

防火材料 ※ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・ 次の箇所を除き防火材料とする (箇所)

2. 下地調整 [7.2.2~7]

塗替えR種の場合の既存塗膜の除去範囲
※ 塗替え面積の30% ※ 図示

下地調整

下地面の種類	下地調整の種類		ひび割れ部の補修
	塗替え	新規	
木部	※ R種	・ RA種 ・ RB種	-
鉄鋼面	※ R種	RA種	-
垂れめつき鋼面	※ R種	RA種	-
垂れめつき鋼面 (鋼製建具)	※ R種	RC種	-
モルタル面、プラスチック面	※ R種	・ RA種 ・ RB種	・ 行う ・ 行わない
コンクリート面 (DP以外)、ALCパネル面	※ R種	RA種	・ 行う ・ 行わない
コンクリート面 (DP)、押出成形セメント板面	・	B種	・ 行う ・ 行わない
せつこうボード面、その他ボード面	※ R種	・ RA種 ・ RB種	-

3. 錆止め塗料塗り [7.3.2~3]

錆止め塗料塗りの種類

鉄鋼面	塗装面	塗料		工程
		A種	C種	
EP-G以外	塗替え	A種	※ C種	EP-G
	新規見え掛り	A種	※ A種	
EP-G	塗替え	B種	※ C種	EP-G
	新規見え隠れ	B種	※ A種	
垂れめつき鋼面	塗替え	B種	※ B種	EP-G以外
	新規 (鋼製建具)	※ A種	※ C種	
EP-G以外	塗替え	※ A種	※ C種	EP-G
	新規 (鋼製建具以外)	※ C種	※ C種	
EP-G	塗替え	C種	※ C種	EP-G
	新規 (鋼製建具以外)	C種	※ A種	

4. 塗装 [7.4.2~7.15.2]

塗装の種類	塗装面	工程	
		塗替え	新規
合成樹脂塗料 (SOP)	木部屋外	※ B種	※ A種
	木部屋内	※ B種	※ B種
塗料の種類 ※ 1種 ・ 2種	鉄鋼面	※ B種	※ B種 ・ A種
	垂れめつき鋼面 (鋼製建具)	※ A種	※ B種
・ クリヤラッカー塗り (CL)	鉄鋼面	※ B種	※ B種 ・ A種
	垂れめつき鋼面 (鋼製建具以外)	※ B種	※ B種
・ フタル酸樹脂エナメル塗り (FE)		-	-
・ アクリル樹脂系非水分散型塗料 (NAD)		※ B種 ・ A種	※ B種 ・ A種
・ 耐候性塗料 (DP)	鉄鋼面	上塗り等級 () 級	・ A種
	垂れめつき鋼面	上塗り等級 () 級	・ A種
・ つや合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP-G)	コンクリート面等	※ B種	※ B種 ・ A種
	屋内の木部	※ B種	・ A種
・ 合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP)	屋内の鉄鋼面	※ B種	※ B種 ・ A種
	屋内の垂れめつき鋼面	※ B種	※ B種 ・ A種
・ 合成樹脂エマルジョン模倣塗料 (EPT)		※ B種	※ B種 ・ A種
・ ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)		※ B種 ・ A種	※ B種 ・ A種
・ ラッカーエナメル塗り (LE)		※ B種	※ B種 ・ A種
・ オイルステイン塗り (OS)		-	-
・ 木材保護塗料 (WP)		※ B種 ・ A種	※ B種 ・ A種

つや合成樹脂エマルジョンベイント塗り (コンクリート面、モルタル面、プラスチック面、せつこうボード、その他ボード) の塗替えの場合のしめ止め ※ 改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをしめ止めシーラーとする

合成樹脂エマルジョンベイント塗りの塗替えの場合のしめ止め ※ 改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをしめ止めシーラーとする

・ 高日射反射塗料 [G]

下地調整 (改修標準仕様書表7.2.2) ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種

工程	規格番号	塗料その他		塗付量 (kg/m ²)
		規格名称	種類	
塗料塗り	JIS K 5675	耐候性屋根用塗料	2種	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級

1. アスベスト含有建材の処理工事 [9.1.1.3~5]

環境配慮改修工事

2. 断熱アスファルト防水改修工事 [9.2.1~3]

3. 外断熱改修工事 [9.3.2~4]

1. アスベスト含有建材の処理工事 [9.1.1.3~5]

施工調査
※ アスベスト含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によってアスベストを含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、監督職員に報告する。
調査範囲 (・ 図示)
貸与資料 (・)

・ 分析によるアスベスト含有建材の調査
分析対象
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロソライト及びトリモライト
分析方法
・ JIS A1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。

材料名	定性分析	定量分析
	・ 箇所数 ()	・ 箇所数 ()
	・ 箇所数 ()	・ 箇所数 ()
	・ 箇所数 ()	・ 箇所数 ()

サンプル数 1箇所あたり3サンプル
採取箇所 ※ 図示

アスベスト粉じん濃度測定 [9.1.1]

測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)
・ 測定1	処理作業前		処理作業室内	・ 計点
・ 測定2	調査対象室外部の付近		調査対象室外部の付近	・ 計点
・ 測定3	処理作業中		処理作業室内	・ 計点
・ 測定4	処理作業中		責任・責任者の排出出口	・ 計点
・ 測定5	処理作業中 (養生中)		処理作業室内 (敷地境界)	・ 計点
・ 測定6	処理作業後 (養生中)		処理作業室内	・ 計点
・ 測定7	処理作業後シート		処理作業室内	・ 計点
・ 測定8	撤去後1週間以降		調査対象室外部の付近	・ 計点

測定方法

	測定3	測定4, 5, 6, 7, 8	測定5
メンブレンフィルタ直径 (mm)	25	25	47
試料の吸引流量 (l/min)	・ 1	・ 5	・ 10
試料の吸引時間 (min)	・ 5	・ 120	・ 240

アスベスト含有建材の処理
・ アスベスト含有吹付け材の除去
除去対象範囲 ※ 図示
除去方法 ※ 9.1.3(b) (1)による
除去したアスベスト含有吹付け材等の飛散防止 ※ 密封処理 ※ 湿潤化 ※ セメント固化

除去したアスベスト含有吹付け材等の処分
・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (熔融施設)

・ アスベスト含有保温材の除去
除去対象範囲 ※ 図示
除去したアスベスト含有保温材の処分
・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (熔融施設)

・ アスベスト含有成形板の除去
除去対象範囲 ※ 図示
除去したアスベスト含有成形板の処分
・ アスベスト含有せつこうボード
※ 埋立処分 (管理型最終処分場)
・ アスベスト含有せつこうボードを除くアスベスト含有成形板
・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (熔融施設)

改修特記仕様書第3章による

断熱材

種類	厚さ (mm)
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材	
・ 押出法ポリスチレンフォーム保温材 (スキナシ)	・ 保温板 (2種 b) ・ 保温板 (3種 b)
・ A種硬質ウレタンフォーム保温材	
・ フェノールフォーム保温材 (3種2号を除く)	
・ ロックウール	
・ グラスウール	

施工箇所 ※ 図示
ホルムアルデヒド放数量 ※ 規制対象外

外壁材

種類	防火性能	備考
・		

既存外壁の措置
既存外壁仕上げ材の撤去 ・ あり ・ なし
下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない
欠損部の改修方法 ・ 改修標準仕様書4.1.4による

2. 環境配慮改修工事

4. ガラス改修工事 [9.4.2]

5. 断熱・防露改修工事 [9.5.2~3]

6. 屋上緑化改修工事 [9.6.1~3]

工法
通気層の有無 ・ あり (mm) ・ なし
断熱材の施工 ※ 断熱材製造所の仕様による
外装材の施工 ※ 外装材製造所の仕様による
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
※ 適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力及び建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法)
・ 適用しない

断熱材のホルムアルデヒド放数量 ※ 規制対象外
断熱材打込み工法

種類	厚さ (mm)
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材	
※ 押出法ポリスチレンフォーム保温材 (スキナシ)	・ 保温板 (2種 b) ・ 保温板 (3種 b)
・ A種硬質ウレタンフォーム保温材	
・ フェノールフォーム保温材 (3種2号を除く)	

施工箇所 ※ 図示
断熱材現場発泡工法
断熱材の種類 ※ A種1 ・ B種1
厚さ (mm) ・ 25 ・ 30
施工箇所 ※ 図示
現場発泡断熱材 (品質・性能)

項目	品質・性能
難燃性	下記のいずれかによること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること (2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法にしようしている発熱性試験 (コンカロリメータ試験) に適合していること。
発熱性	準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の (1) ~ (3) に適合していること。 (1) 総発熱量が9MJ/m ² 以下であること。 (2) 防火上有害な表面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW/m ² を超えないこと。

(試験方法)
(1) 原液試験 (原液粘度試験)
JIS K 7117-1「アセチン-液状、乳濁状又は分散状の樹脂-β'メタクリル」形回転粘度計による見掛け粘度の測定方法」による。
(2) 発泡点試験
1) 試料の作成は、JIS A8926「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」の6.2.11による。
2) 試料の状態調節は、JIS A 9526の6.2.2による。また、試験片の作成はJIS A 9526の6.2.3による。
3) 試験片の状態調節及び試験場所は、JIS A 9526の6.2.4による。
(3) 圧縮強さの試験
JIS A 9526の6.2.5により、測定はJIS K 7220「硬質発泡アセチン-β'メタクリル」の圧縮強さの求め方」による。
(4) 熱伝導率試験
JIS A 9526の6.2.6により、JIS A 1412-1「熱絶縁材の熱抵抗及び熱伝導率の測定方法-第1部-保護熱法 (BHP法)」又はJIS A 1412-2「熱絶縁材の熱抵抗及び熱伝導率の測定方法-第2部-熱流計法 (HFM法)」によって、平均温度 (23±2) °Cで、高温板と低温板の温度差 (25±5) °Cで熱伝導を測定する。
(5) 接着強さ試験
JIS A 9526の6.2.7による。
(6) 透気率試験
JIS A 9526の6.2.8により、測定はJIS A 1324「建築材料の透気性測定方法」又はJIS K 7225「硬質発泡アセチン-水蒸気透過性の求め方」による。
(7) 難燃性の表面加熱試験
JIS A 1321に規定する試験方法に準じる。
(8) 発熱性試験
建築基準法に基づく指定性能評価機関が準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している試験方法に準じる。

植栽盛装及び材料
屋上緑化軽量システム ・ 適用する ・ 適用しない
定及び地盤の樹根並びに種類等 ※ 図示
見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※ 図示
(品質・性能)

項目	性能
透水、排水層等構成材の主要材質	合成樹脂等が耐腐食性及び耐久性のあるものであること。(保水層を有する場合は、保水層共)
透水層	目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、補充込み用土を流出させない構造であること。
排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び補充込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。
排水層の鉛直方向の排水性能	24l/m ² /h以上
耐荷重性能	一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。3×10 ¹ /m ² の載荷重で破壊・有害なひずみなど異常がないこと。(保水層を有する場合は保水層共)
耐根層	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。
耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。但し、耐根層がこれと同等の性能を有するものと認められる場合は省略することができるものとする。

7. 透水性アスファルト舗装改修工事 [9.7.2~9]

環境配慮改修工事

工法
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法
※ 適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)
・ 適用しない
かん水装置 ・ 設置する (種類 ・)
既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない

既存舗装の撤去及び再利用 ※ 図示

路床の材料

種類	材料	厚さ (mm)
・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	・ 図示
・ 遮断層	・ 建設汚泥から再生した処理土 [G] ・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (75µmふるい通過量10%以下)	・ 図示
・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシュヤラン [G] ・ クラッシュヤラン ・ 切込み砂利 ・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (75µmふるい通過量10%以下)	・ 図示
・ フィルター層	・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (75µmふるい通過量6%以下)	・ 図示

路床安定処理
・ 添加材料による安定処理
種類
・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種
・ フライアッシュセメントB種
・ 生石灰 ()
添加量 kg (目種CBR ・ 5以上 ・)
・ ジオテキスタイル
単位面積質量 ・ 60g/m²以上
厚さ (mm) ・ 0.5~1.0
引張強さ ・ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上
透水係数 ・ 1.5×10⁻² cm/sec 以上

試験
砂の粒状試験 ・ 行う ・ 行わない
路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・ 行う ・ 行わない
路床締固め試験 ・ 行う ・ 行わない

路盤
路盤の厚さ ・ 図示
路盤材料 ・ 砕石 ・ 再生クラッシュヤラン [G] ・ クラッシュヤラン鉄鋼スラグ [G]

試験
路盤締固め度の試験 ※ 行う ・ 行わない

舗装

材料	厚さ (mm)
ストレータスファルト	・ 図示

試験
透水性アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない
舗装の平坦性 ※ 著しい不陸がないもの

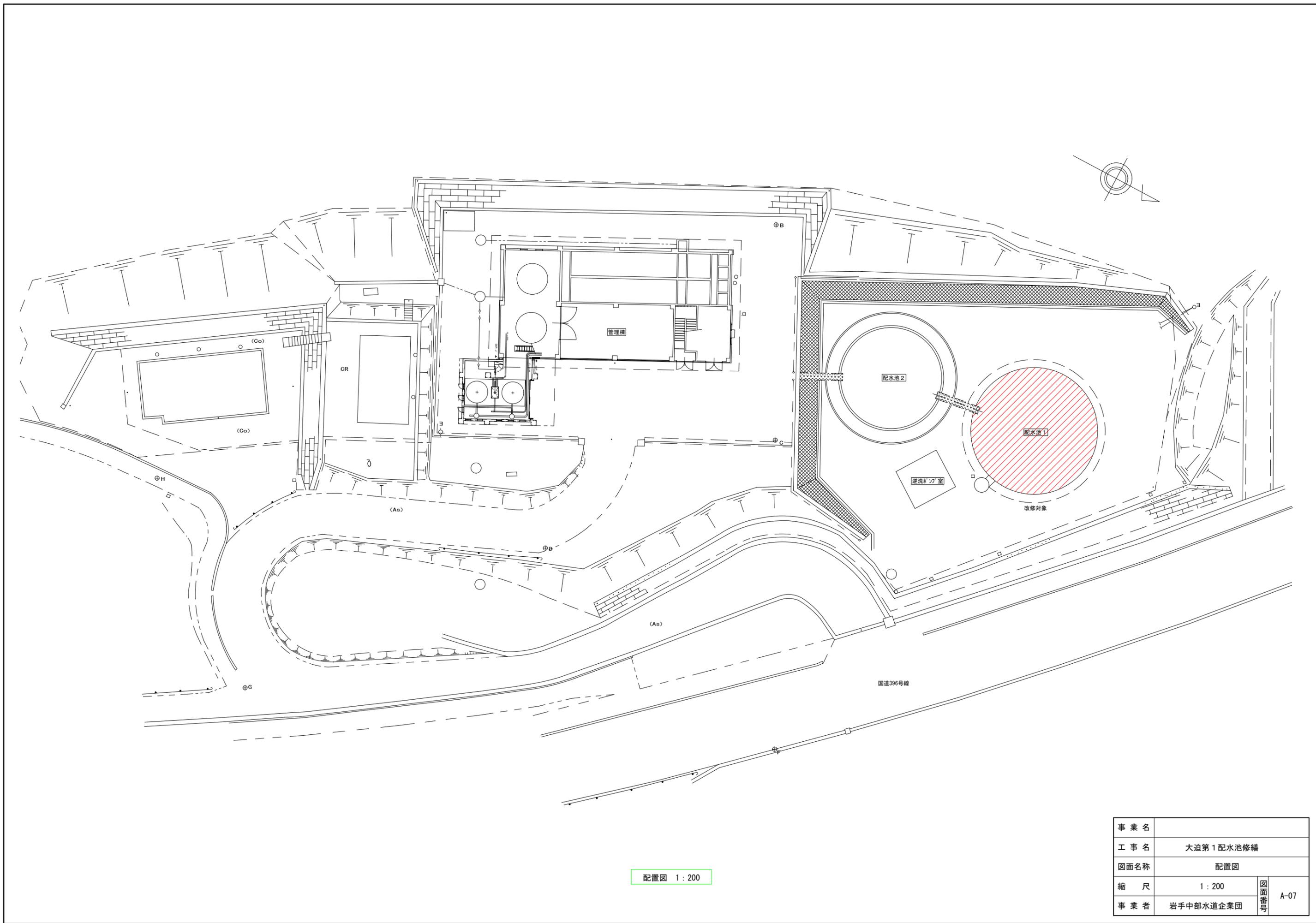
事業名	大迫第1配水池修繕		
工事名	改修特記仕様書 (5)		
縮尺	NON	図面番号	A-05
事業者	岩手中部水道企業団		



案内図

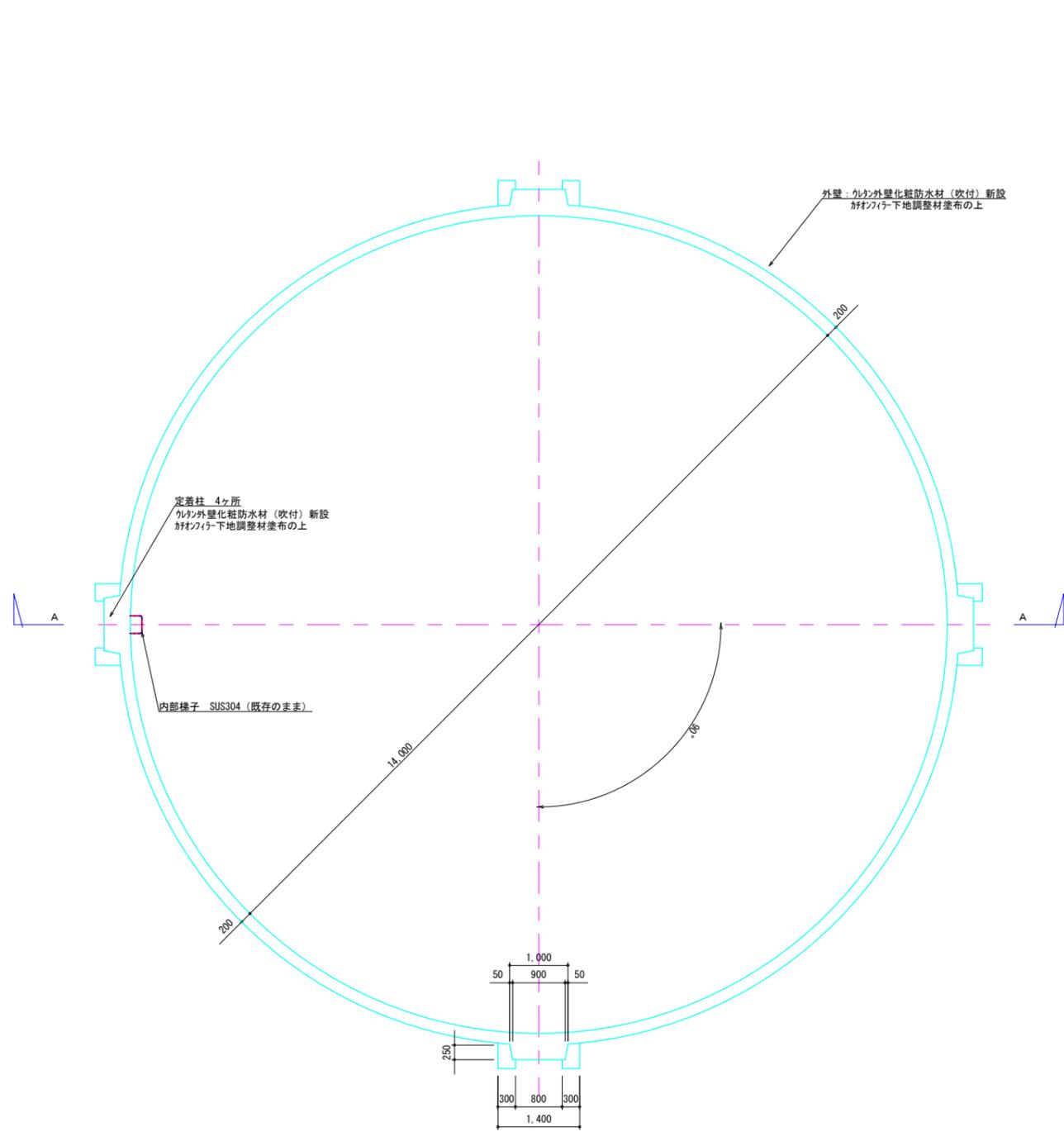
施工場所：大迫中央浄水場
 岩手県花巻市大迫町大迫第3地割 地内

事業名			
工事名	大迫第1配水池修繕		
図面名称	案内図		
縮尺	NON	図面番号	A-06
事業者	岩手中部水道企業団		

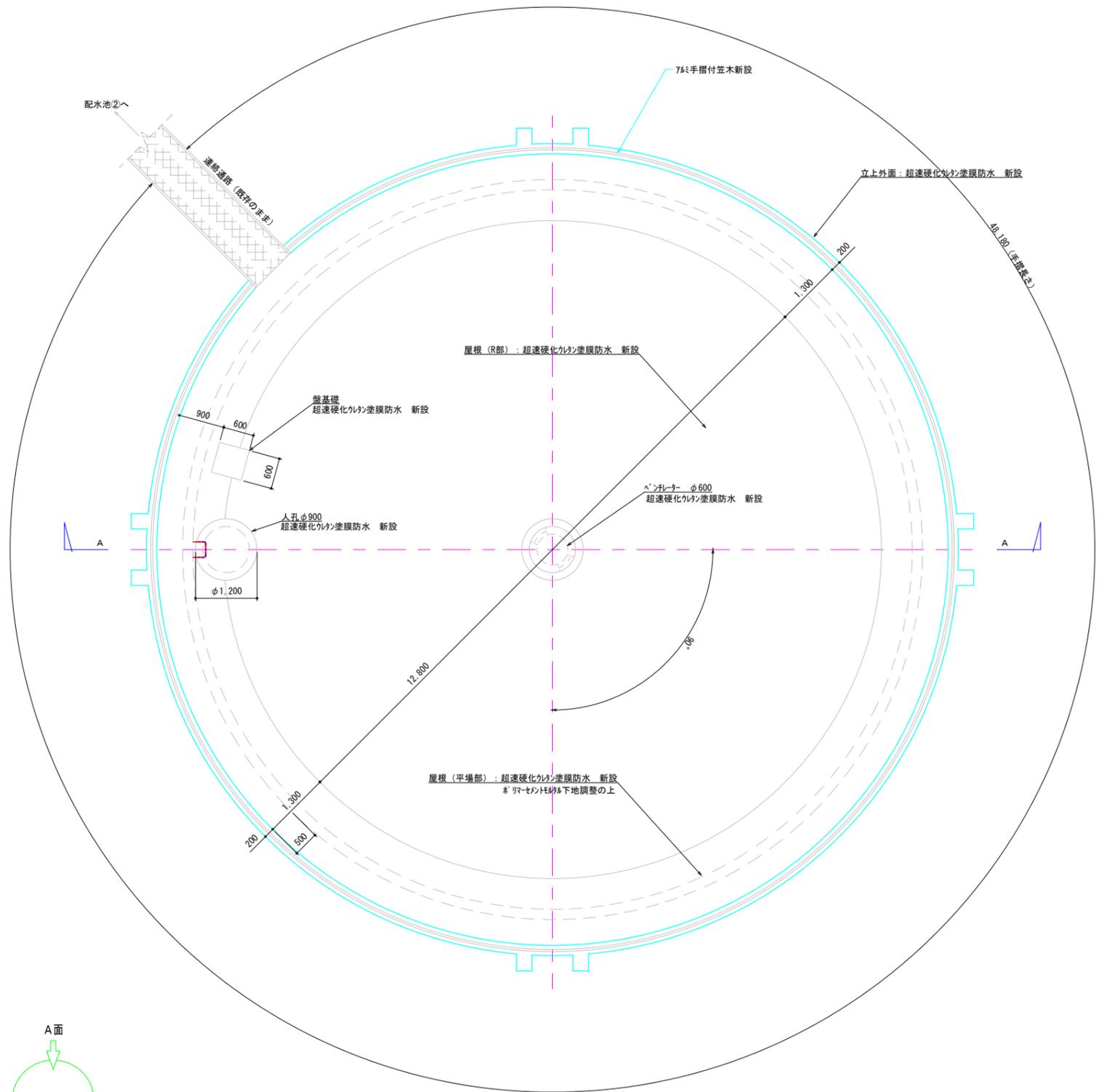
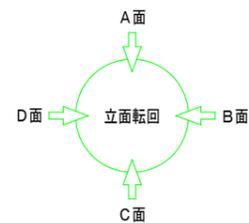


配置図 1 : 200

事業名			
工事名	大迫第1配水池修繕		
図面名称	配置図		
縮尺	1 : 200	図面番号	A-07
事業者	岩手中部水道企業団		

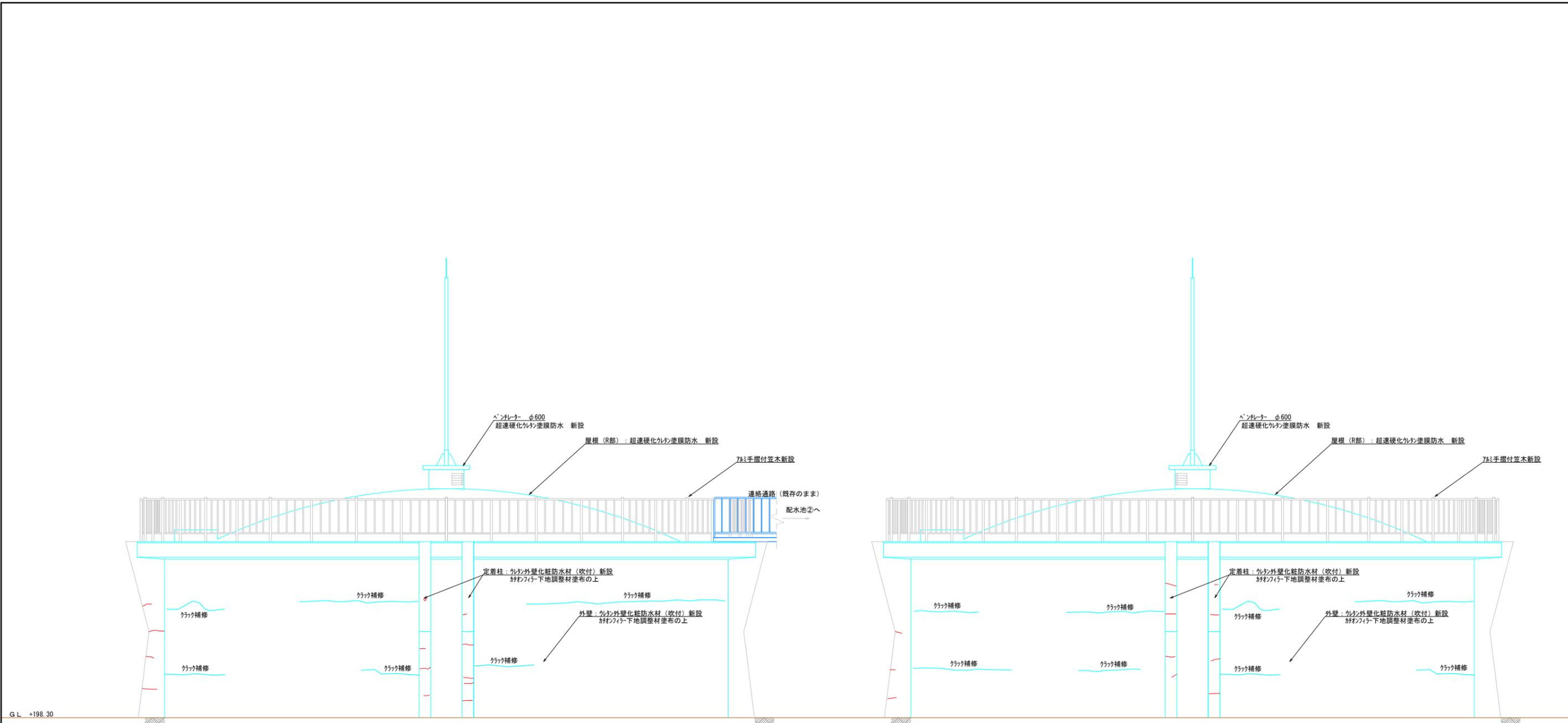


平面図



屋根伏図

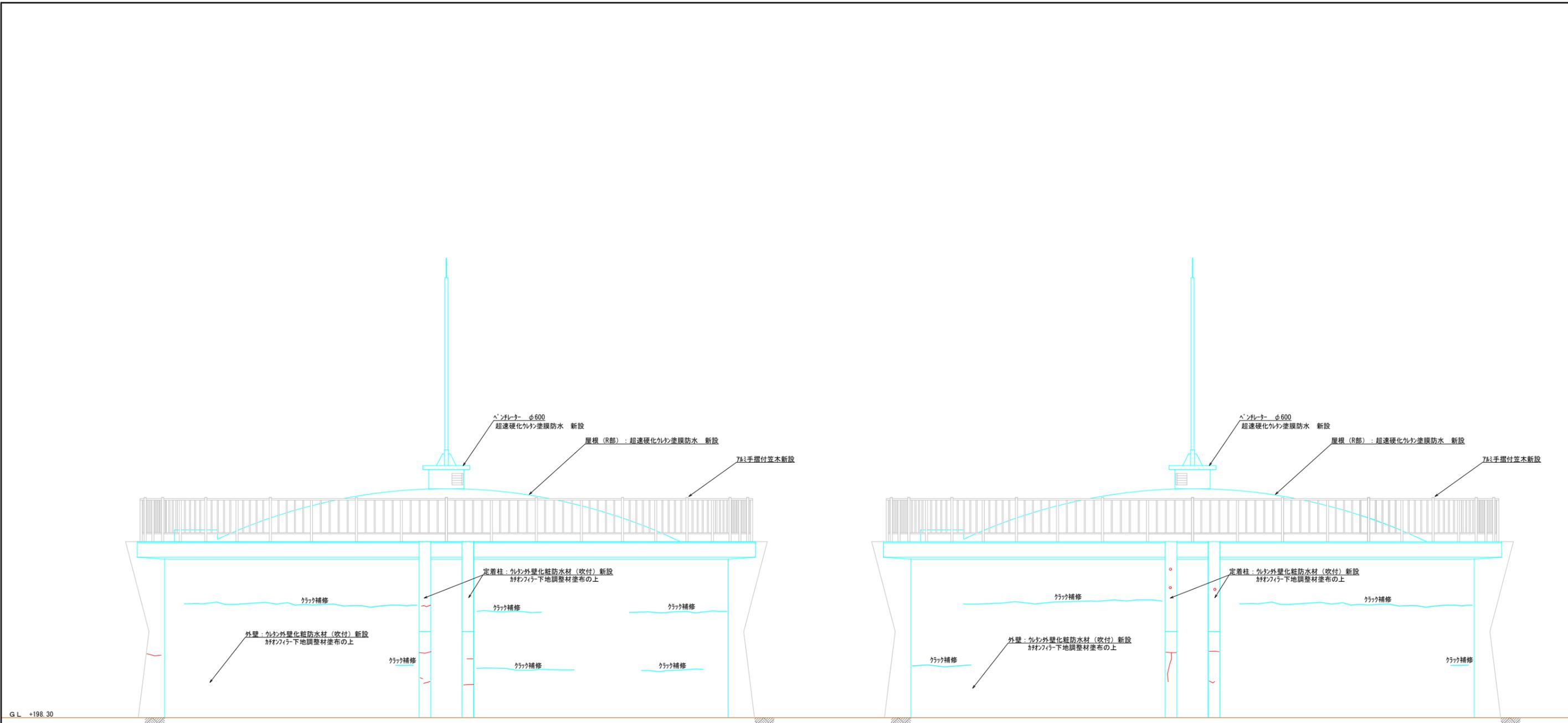
事業名			
工事名	大迫第1配水池修繕		
図面名称	改修平面図・屋根伏図		
縮尺	1:50	図面番号	A-08
事業者	岩手中部水道企業団		



A面立面図

B面立面図

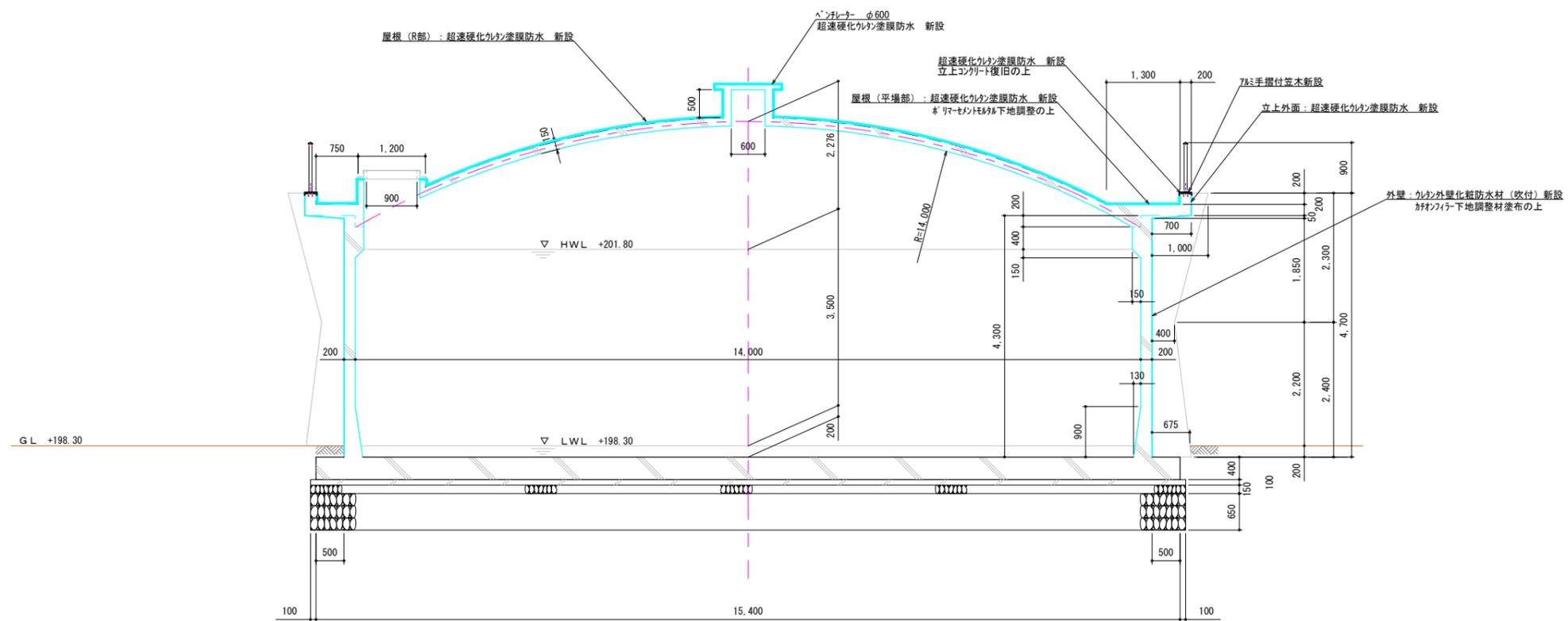
事業名			
工事名	大迫第1配水池修繕		
図面名称	配水池1 改修立面図 (1)		
縮尺	1 : 50	図面番号	A-09
事業者	岩手中部水道企業団		



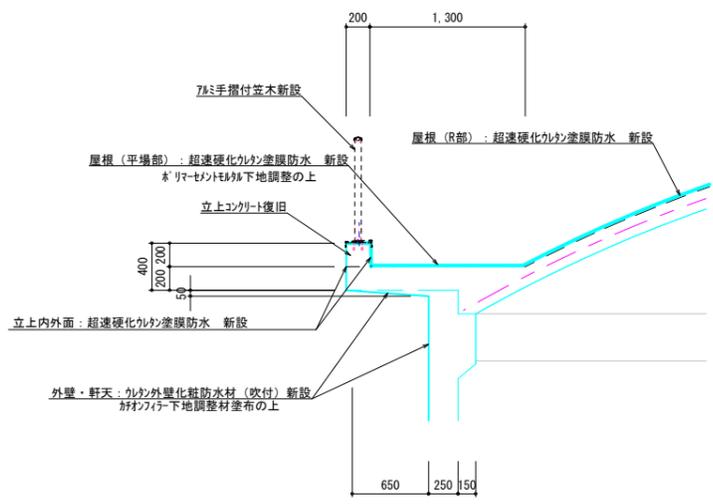
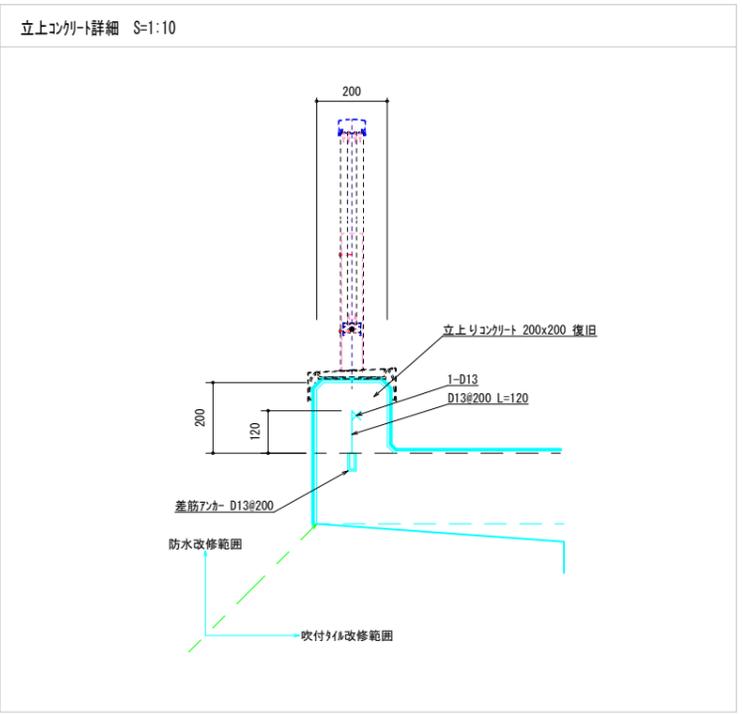
C面立面図

D面立面図

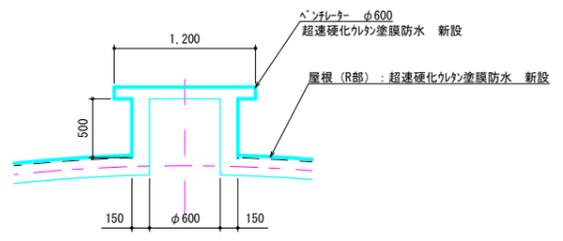
事業名			
工事名	大迫第1配水池修繕		
図面名称	配水池1 改修立面図 (2)		
縮尺	1:50	図面番号	A-10
事業者	岩手中部水道企業団		



A-A 断面図

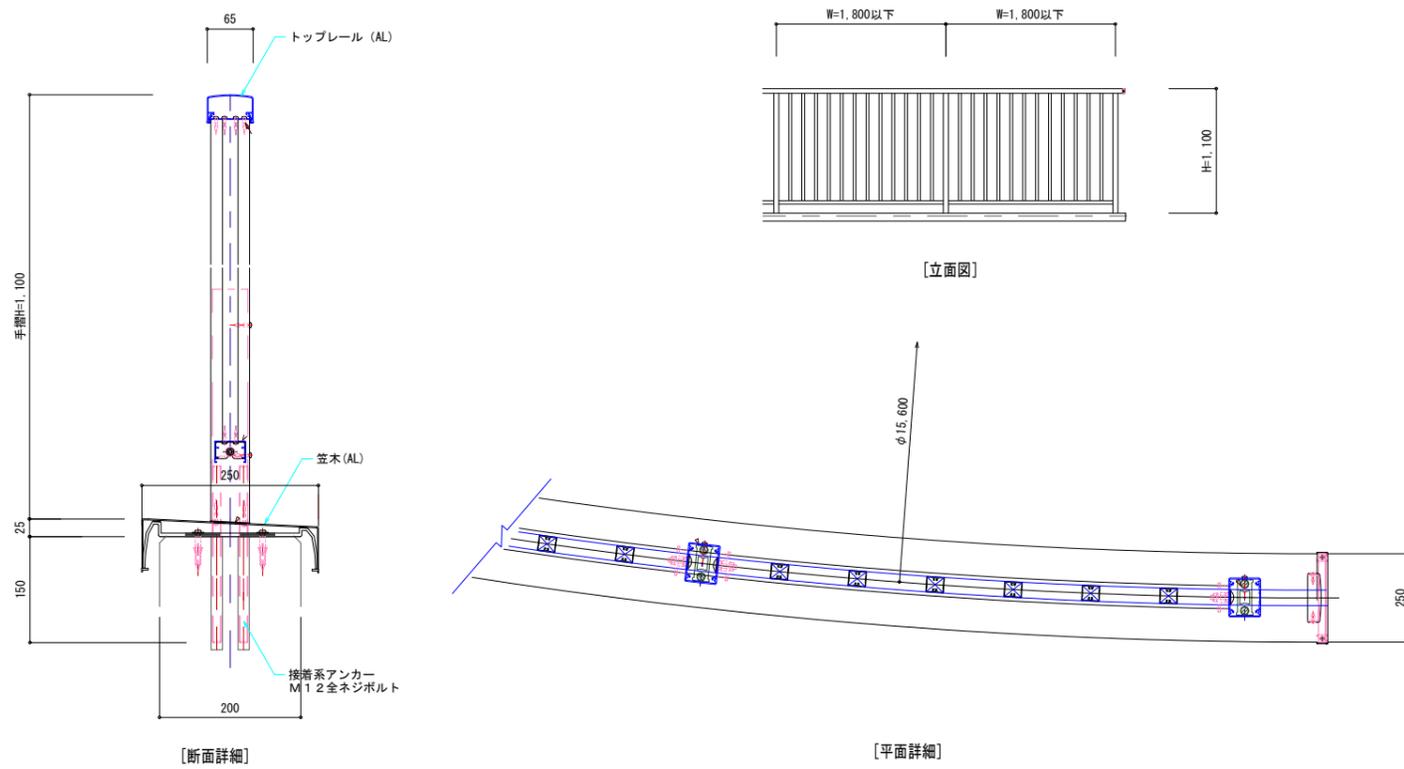
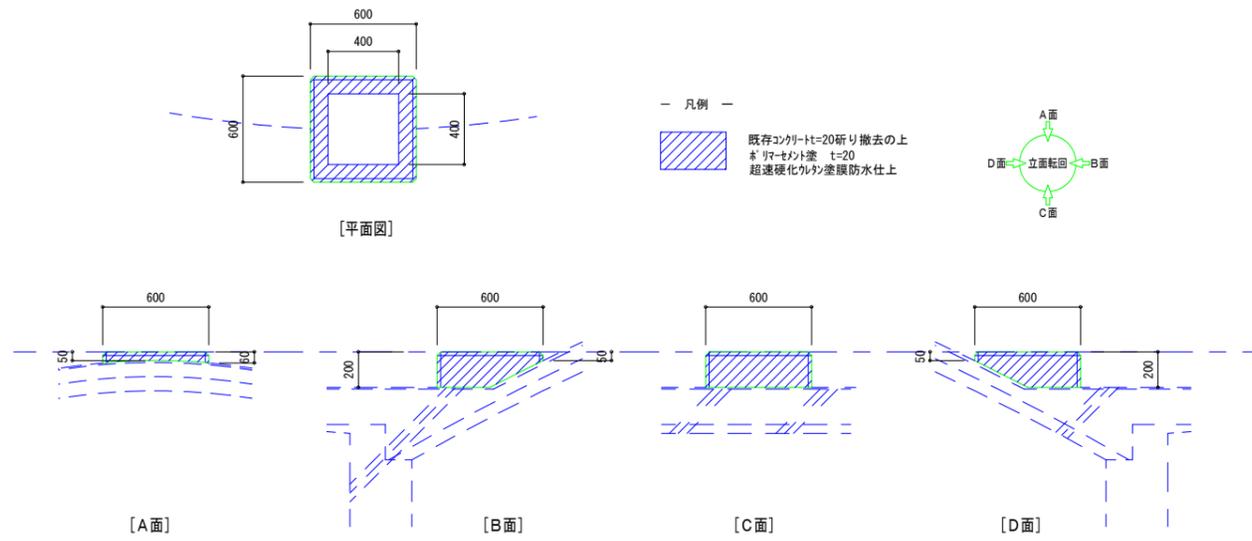


ドームリング部詳細図 S=1:30

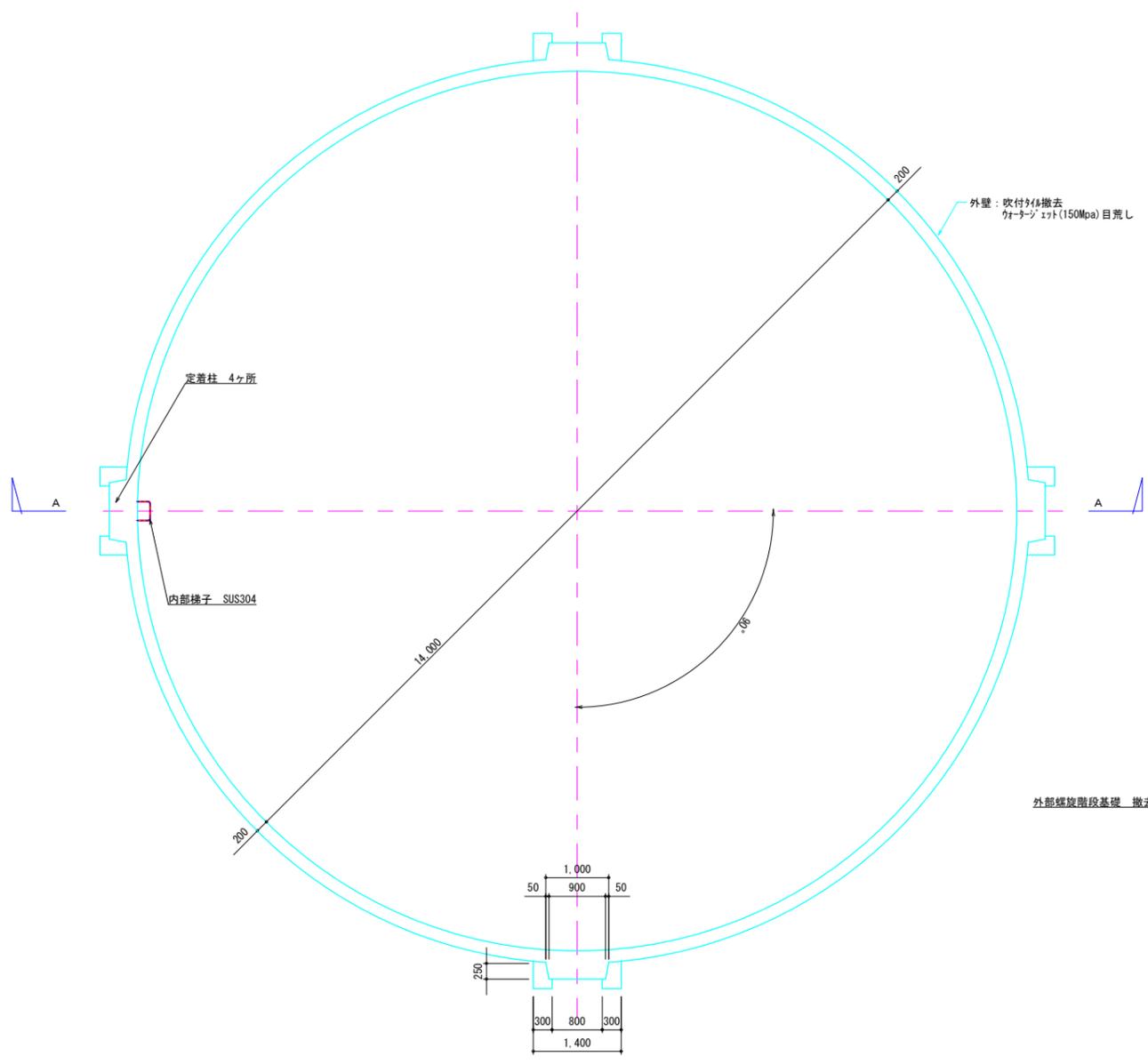


ベンチレーター部詳細図 S=1:30

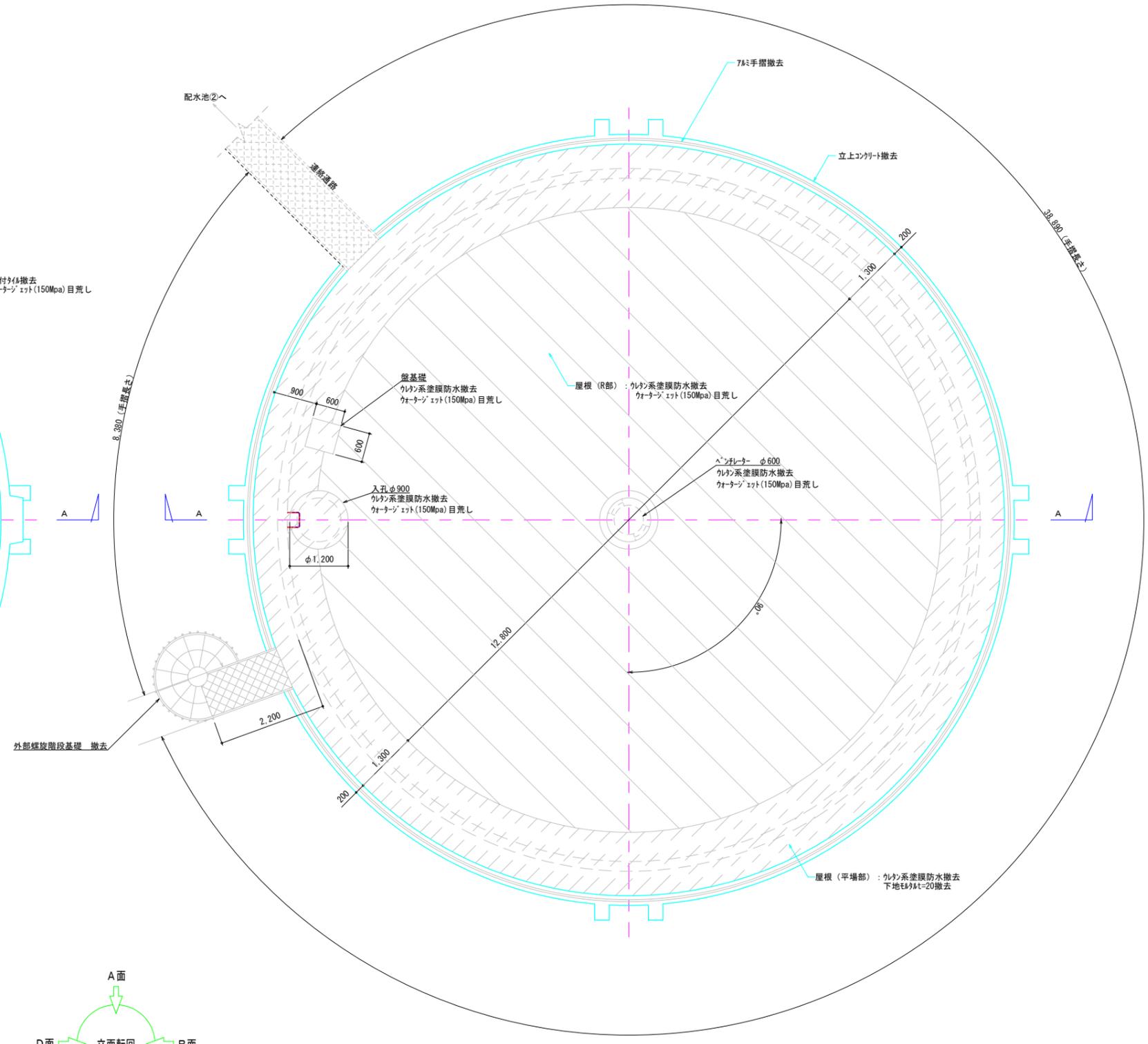
事業名	大迫第1配水池修繕		
工事名	改修断面図		
縮尺	1:50, 1:30, 1:20	図面番号	A-11
事業者	岩手中部水道企業団		



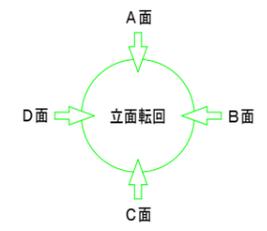
事業名	大迫第1配水池修繕		
工事名	改修詳細図		
図面名称	改修詳細図		
縮尺	1:5, 1:10, 1:20, 1:100	図面番号	A-12
事業者	岩手中部水道企業団		



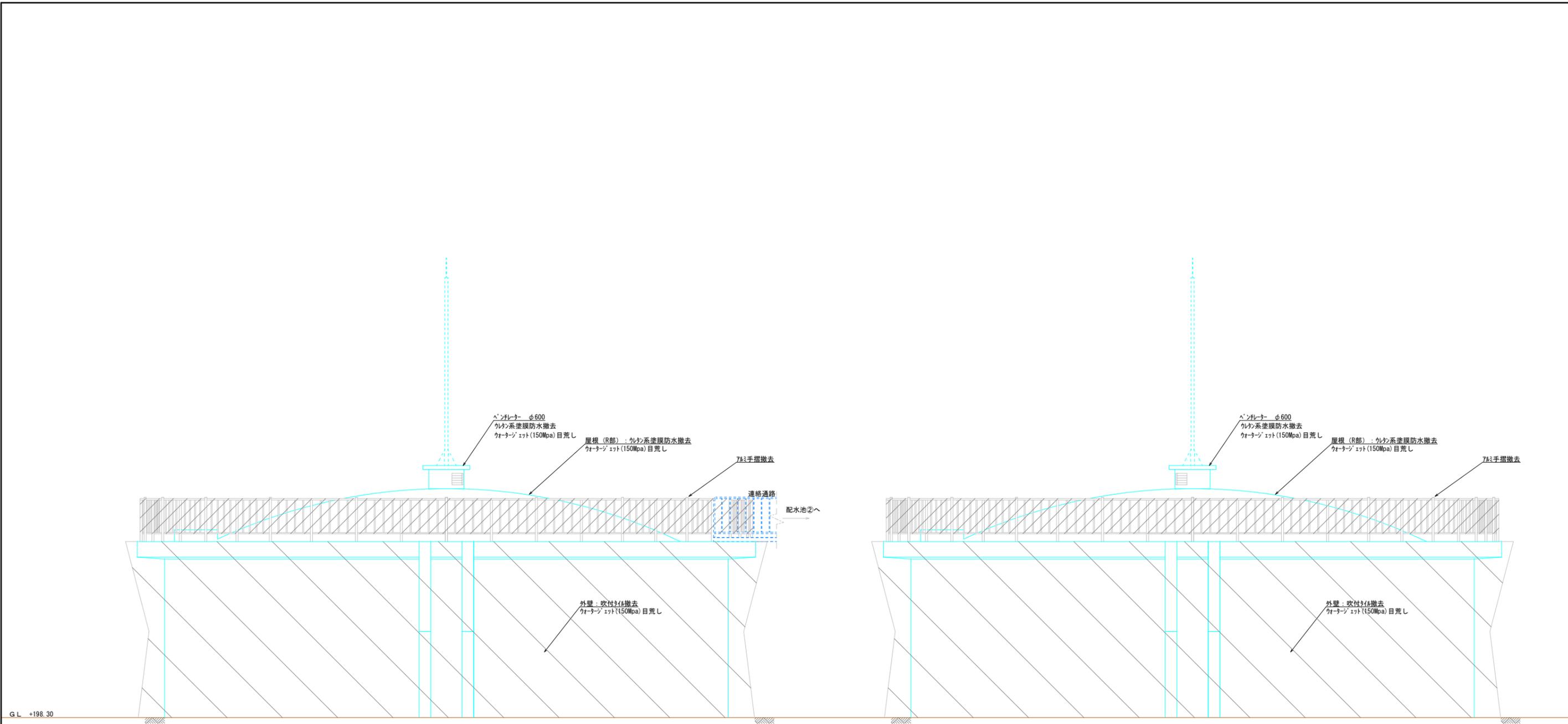
平面図



屋根伏図



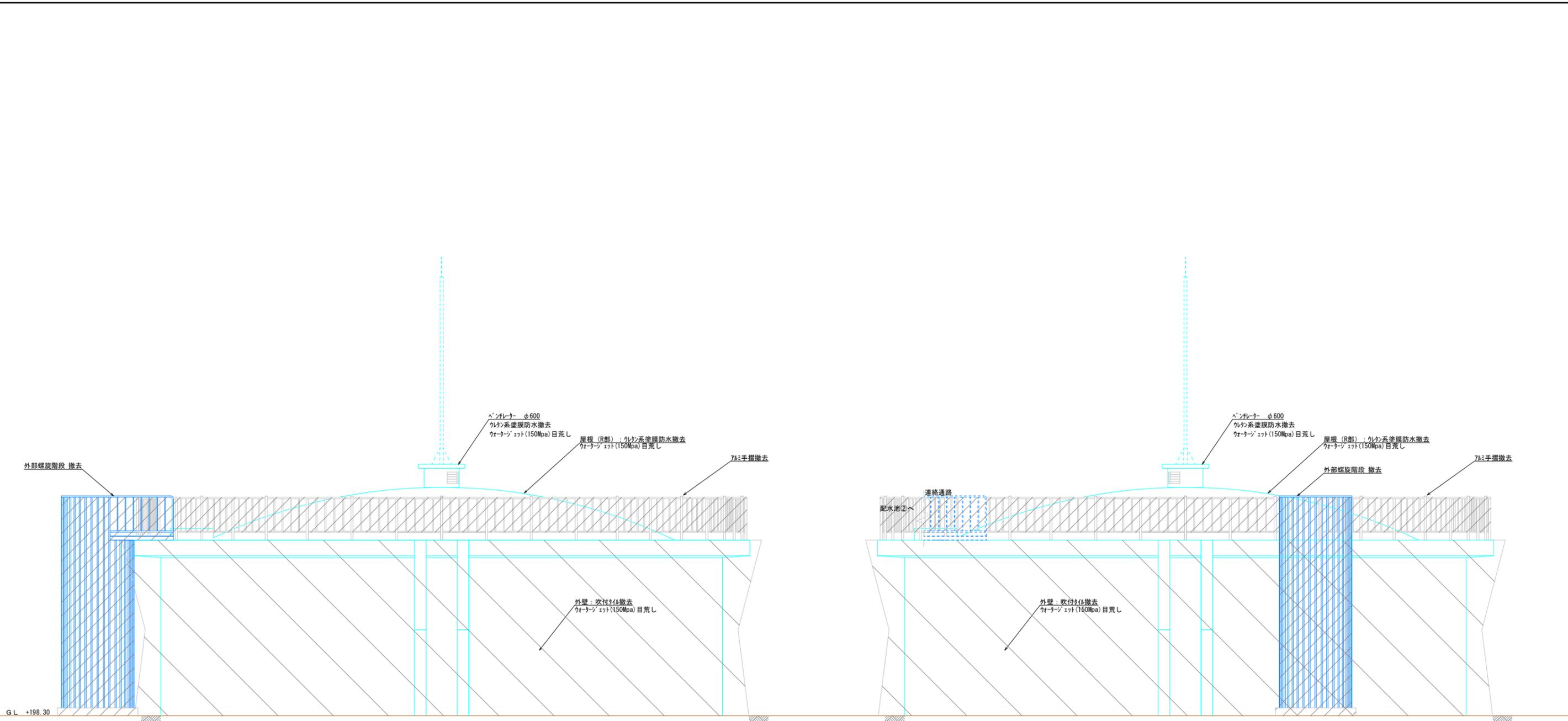
事業名			
工事名	大迫第1配水池修繕		
図面名称	既存撤去平面図・屋根伏図		
縮尺	1:50	図面番号	A-13
事業者	岩手中部水道企業団		



A面立面図

B面立面図

事業名			
工事名	大迫第1配水池修繕		
図面名称	既存撤去立面図 (1)		
縮尺	1:50	図面 番号	A-14
事業者	岩手中部水道企業団		



C面立面図

D面立面図

事業名			
工事名	大迫第1配水池修繕		
図面名称	既存撤去立面図(2)		
縮尺	1:50	図面番号	A-15
事業者	岩手中部水道企業団		

